

第5 様 式

避難・地震防災応急対策の実施状況報告書

速報用

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

緊急応急対策等	実施状況等 (該当する番号に○をつけること)
①東海地震予知情報の伝達	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
②地域住民の避難状況	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
③消防・浸水対策活動	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
④応急の救護を要すると認められる者の救護・保護	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑤施設・設備の整備及び点検	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑥犯罪の防止、交通の規制、その他社会秩序の維持	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑦食糧、生活必需品、医薬品等の確保	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑧緊急輸送の確保	1 必要なし 2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑨地震災害警戒本部（災害対策本部）の設置	1 設置 2 準備中 3 未設置
⑩対策要因の確保	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
備 考	

避難・地震防災応急対策の実施状況報告書

< 県報告用 >

送信者		受信者		送受信日時
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避難 状 況	① 避難 の 経 過	危険事態、異常事態の発生状況		
		措置事項		
	② 避難 の 完 了	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な措置等
地震 防 災 応 急 対 策	③	地震予知情報の伝達、避難指示		
	④	消防、水防その他応急措置		
	⑤	応急の救護を要すると認められる者の救護、保護		
	⑥	施設・設備の整備及び点検		
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持		
	⑧	緊急輸送の確保		
	⑨	食料・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備		
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置		
		備 考		

避難・地震防災応急対策の実施状況報告書

< 避難所等からの報告用 >

送信者		受信者		送受信日時
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避難 状 況	① 避難 の 経 過	危険事態、異常事態の発生状況			
		措置事項			
	② 避難 の 完 了	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な措置等	
地震 防 災 応 急 対 策	③	地震予知情報の伝達、避難指示			
	④	消防、水防その他応急措置			
	⑤	応急の救護を要すると認められる者の救護、保護			
	⑥	施設・設備の整備及び点検			
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持			
	⑧	緊急輸送の確保			
	⑨	食料・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備			
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置			
		備 考			

被害状況報告書

〈避難所用〉

避難所

第	報
---	---

報告日時	年 月 日 時 分	報告者					
報告機関名	避難所対策本部	受信者					
情報源	市民・自主防災組織・消防・警察・職員・その他（ ）						
避難所	開設日時	年 月 日 時 分	世帯数				
	開設状況	種 別	指示 ・ 自主避難	人 数			
被害種別		被害	被害の状況及び特記事項				
人的被害	死者	人	(被害が甚大な地区名等)				
	行方不明者	人					
	重傷者	人					
	軽傷者	人					
住家被害	全壊	戸	避難所収容人数	全壊	棟	世帯	
	半壊	戸		半壊	棟	世帯	
	一部破損	戸		一部破損	棟	世帯	
	()	戸		()	棟	世帯	人
火災の発生状況	地区	棟					
	地区	棟					
	地区	棟					
	地区	棟					
	地区	棟					
その他公共施設等の被害	道路	箇所					
	橋梁	箇所					
	河川	箇所					
		箇所					
		箇所					
		箇所					
緊急を要する事項等（具体的に箇条書きにして記入のこと。）							

人的被害状況報告書

（ ⇒市災害対策本部）

速報・確定 年 月 日現在

報告日時	年 月 日	所属部課		報告者	
------	-------	------	--	-----	--

情報元（ ）

被災者		区分	確認した日時 及び状況	措置の結果
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 重傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 重傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 重傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 重傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 重傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			
氏名	男・女	死亡 行方不明 負傷 重傷 軽傷		
年齢	年 月 日生（満 歳）			
住所	市 町			

注意事項 被災者が発生したときは、速報としてその都度市災害対策本部へ報告すること。
なお、この場合は、電話又は口頭による報告でもよい。

住家被害認定調査票		地震木造・プレハブ第1次A		調査票番号	3 配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	令和	年	月	日		
1 調査時	:	~	:			
調査員						
所在地						
世帯主						
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)					

4 応急危険度判定	<input type="checkbox"/> 危険 <input type="checkbox"/> 要注意 <input type="checkbox"/> 調査済 <input type="checkbox"/> 不明	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記
-----------	--	---------------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずり落ち <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	---	---------	----------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上(下げ振り120cmの場合)	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	--	-------	----------------------------------

8 基礎	損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%
	損害割合	0	1	2	4	6	7

9 壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害	0	0	0	0	0	0
	程度I	1	2	3	5	6	8
	程度II	2	4	8	11	15	19
	程度III	4	8	15	23	30	38
	程度IV	6	11	23	34	45	56
程度V	8	15	30	45	60	75	

10 屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%
	無被害	0	0	0	0	0	0
	程度I	0	0	1	1	1	2
	程度II	0	1	2	2	3	4
	程度III	1	2	3	5	6	8
	程度IV	1	2	5	7	9	11
程度V	2	3	6	9	12	15	

【損害割合算出表】 (注)「6傾斜」の平均値が2cm未満の場合「計あ」の値を、2cm以上の場合「計あ」又は「計い」のうち大きい値を住家の損害割合とする。

	8基礎	+9壁	+10屋根	= 計あ		6傾斜	+10屋根	= 計い
傾斜無					傾斜有	1 5		

「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)かつ、「計あ」、「計い」のどちらの値も20未満 → 傾斜による判定 半壊

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定調査票 地震木造・プレハブ第1次B		調査票番号	配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日	令和 年 月 日			
1 調査時	: ~ :			
調査員				
所在地				
世帯主				
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 応急危険度判定	<input type="radio"/> 危険 <input type="radio"/> 要注意 <input type="radio"/> 調査済 <input type="radio"/> 不明	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記
-----------	---	---------------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずれ落ち <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	---	---------	----------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上(下げ振り120cmの場合)	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	損傷率 75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	--	-----------	----------------------------------

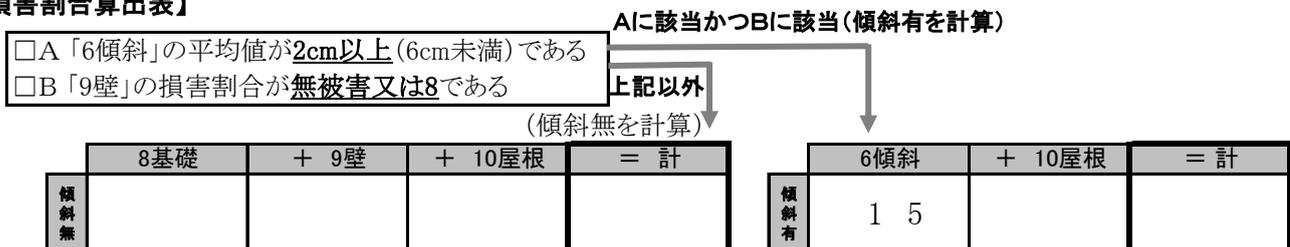
8 基礎	損害割合	無被害	1	2	4	6	7
------	------	-----	---	---	---	---	---

9 壁	損害割合	無被害	8	15	30	45	75
-----	------	-----	---	----	----	----	----

10 屋根	損害割合	無被害	2	3	6	9	15
-------	------	-----	---	---	---	---	----

(備考)

【損害割合算出表】



「6傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)かつ、「計」の値が20未満 → 傾斜による判定 半壊

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定調査票		調査票番号	■判定した住家の範囲が分かるように記載
地震木造・プレハブ第1次C			
調査日	令和 年 月 日	3 配置状況	
1 調査時	: ~ :		
調査員			
所在地			
世帯主			
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)		

4 応急危険度判定	<input type="checkbox"/> 危険 <input type="checkbox"/> 要注意 <input type="checkbox"/> 調査済 <input type="checkbox"/> 不明	■応急危険度判定調査表等に記載されている傾斜、コメント等を転記
-----------	---	---------------------------------

5 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずれ落ち <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	---	---------	----------------------------------

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上(下げ振り120cmの場合)	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)							

7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎の損傷率が75%以上である(損傷長/全長×100)	損傷率75%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
------	--	----------	----------------------------------

8 部位	<input type="checkbox"/> (屋根) 棟瓦若しくは瓦の概ね30%以上にズレ等がある又は小屋組が損傷するなど屋根の一部が変形しており、ひとたび降雨があれば浸水を免れない <input type="checkbox"/> (壁(外壁)) 程度Ⅲ相当(仕上材が脱落等することにより下地材が見えている)以上の損傷が概ね20%以上ある <input type="checkbox"/> (建具) 程度Ⅳ相当(ドア又は窓の枠が変形して隙間が生じている)以上の損傷が概ね20%(2か所)以上ある	全てに該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(半壊)	
		該当しない項目がある	「6傾斜」の平均値が2cm以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(半壊)
			2cm未満	<input type="checkbox"/> 判定へ(半壊に至らない)

(備考)

別の調査票を使う場合
<input type="checkbox"/> 調査票A
<input type="checkbox"/> 調査票B
<input type="checkbox"/> 第2次調査

判定	<input type="checkbox"/> 半壊に至らない	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 全壊
----	----------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

(注1)「全壊」又は「半壊」以外の区分については、調査票A又はB若しくは第2次調査により判定する。

(注2)調査票A又は調査票Bとの併用も可能。

住家被害認定調査票 地震 木造・プレハブ 第2次-1		調査票番号		<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 住家全部が流出又はずれ落ち <input type="checkbox"/> 地盤被害により基礎に著しい損傷 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断		いずれかに該当 <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
		調査日 令和 年 月 日		① ② ③ ④		
1	調査時	: ~ :		傾斜 水平距離 (cm)		傾斜 水平距離 (cm)
	調査員					
	所在地					傾斜 水平距離 (cm)
	世帯主					
2	住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				傾斜 水平距離 (cm)
5	基礎	損傷長 (m)	全長 (m)	損傷率 = 損傷長 / 全長 × 100		
6	柱(又は耐力壁)	<input type="checkbox"/> 柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上			損傷率 75%以上 <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	該当しない場合は2頁「7」以降へ

【損害割合算出表】

(注) d・g列は、四捨五入した値を記入する。
 h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (<input type="checkbox"/> 傾斜が2cm以上)傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B [※]	C [※]	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
9	外壁	10						
10	内壁	10						
11	床(階段含)	10						
5	基礎	10	「5.基礎」の損傷率×0.1 →					
12	柱(又は耐力壁)	15		11%以上で全壊				
13	屋根	15						
14	天井	5						
15	建具	15						
16	設備	10						
計		あ						15%
		い						う

※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。

「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値を住家の損害割合とする。

「4傾斜」の平均値が2cm以上(6cm未満)かつ、「計あ」、「計い」、「計う」のいずれの値も20未満 →

傾斜による判定
 半壊

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

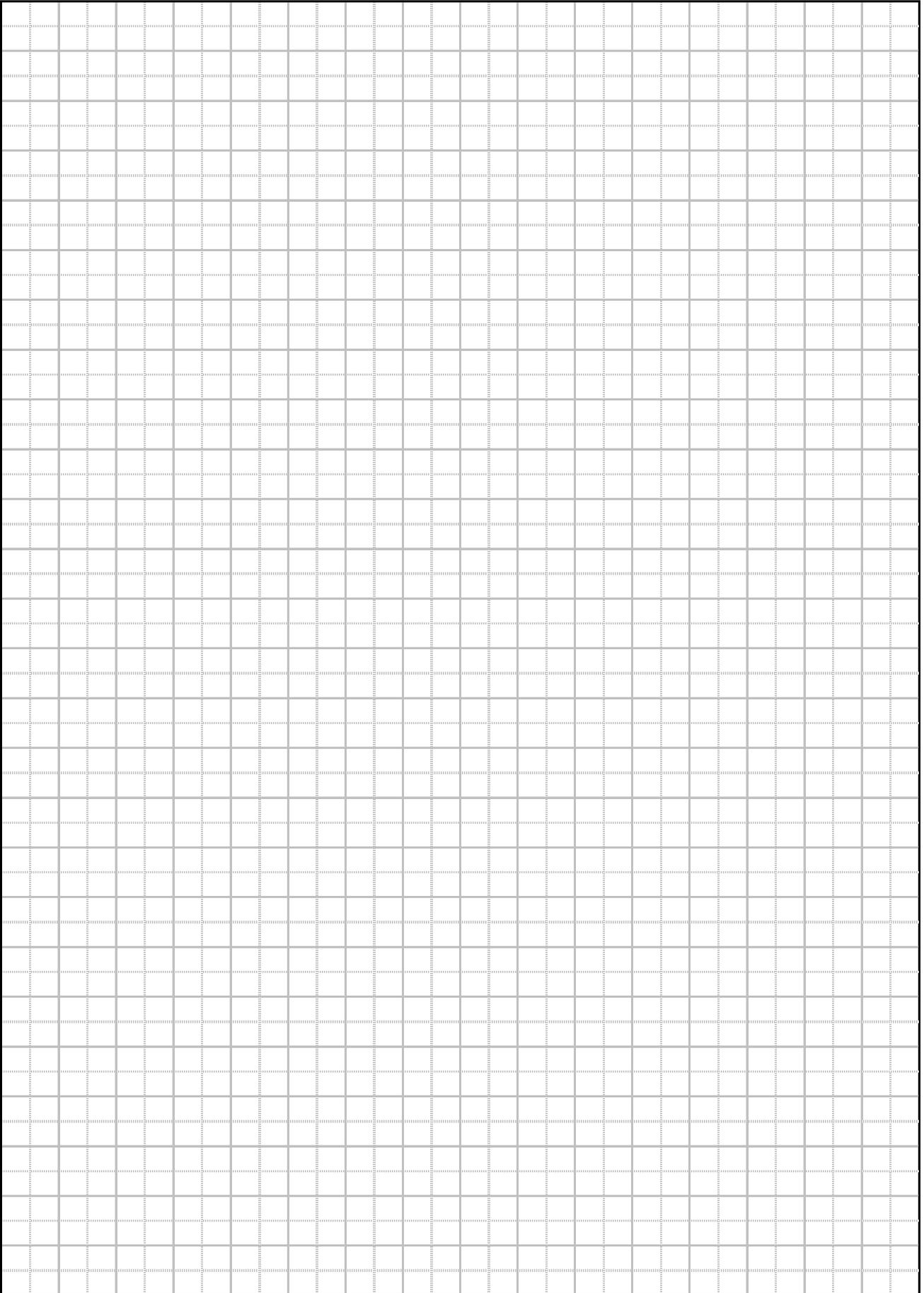
住家被害認定
調査票
地震
木造・プレハブ
第2次-2

調査票
番号

主要階 ・ その他階

()階平面図 ・ 屋根伏図

7



住家被害認定 調査票 地震 木造・プレハブ 第2次-3	調査票 番号	

8	面積率	床	主要階 (1)	その他階 (2)	計 1.0
		屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
9	外壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		10%	無被害	0	0	0	0	0	0
程度Ⅰ	0		0	0	1	1	1	B	
程度Ⅱ	0		1	1	2	2	3		
程度Ⅲ	1		1	2	3	4	5		
程度Ⅳ	1		2	3	5	6	8	計×(1)	
程度Ⅴ	1		2	4	6	8	10		
10	内壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	B		
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5		計×(1)	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
11	床 (階段含)	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	B		
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5		計×(1)	
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
12	柱 (又は耐力壁)	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	B		
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		計×(1)	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	計×(1)		
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
13	屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	B		
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		計×(3)	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	計×(3)		
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
14	天井	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	B		
程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1		計×(1)	
程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3			計×(1)
程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	計×(1)		
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
15	建具	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	B		
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		計×(1)	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			計×(1)
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	計×(1)		
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
16	設備	損傷の状況							計
		浴室 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能					
台所 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能							

		その他階							
8	面積率	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		10%	無被害	0	0	0	0	0	0
程度Ⅰ	0		0	0	1	1	1	C	
程度Ⅱ	0		1	1	2	2	3		
程度Ⅲ	1		1	2	3	4	5		
程度Ⅳ	1		2	3	5	6	8	計×(2)	
程度Ⅴ	1		2	4	6	8	10		
10	内壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	C		
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3		計×(2)	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			計×(2)
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	計×(2)		
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
11	床 (階段含)	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	C		
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3		計×(2)	
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			計×(2)
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	計×(2)		
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
12	柱 (又は耐力壁)	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	C		
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		計×(2)	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			計×(2)
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	計×(2)		
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
13	屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	C		
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		計×(4)	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			計×(4)
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	計×(4)		
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
14	天井	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	C		
程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1		計×(2)	
程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3			計×(2)
程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	計×(2)		
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
15	建具	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	C		
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		計×(2)	
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			計×(2)
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	計×(2)		
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
16	設備	損傷の状況							計
		浴室 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能					
台所 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能							

住家被害認定調査票		調査票番号					
地震非木造第2次-1							
調査日	令和 年 月 日						
1 調査時	: ~ :						
調査員							
所在地							
世帯主							
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)						
7 構造の確認	<input type="checkbox"/> 鉄骨造の場合 柱(本数で判定) 柱が見えない場合 ↓ 耐力壁(プレース数で判定) 耐力壁が見えない場合 ↓ 外部仕上げ(面積で判定)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの場合 ↓ ・ラーメン構造の場合 柱(本数で判定) ↓ ・壁式構造の場合 耐力壁(面積で判定)				
	面積率	~10% ~20% ~40% ~60% ~80% ~100%	計				
9 内部仕上・天井	無被害	0	0	0	0	0	0
10% 10	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
11 柱(又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0
50%	I	1	1	2	3	4	5
	II	1	3	5	8	10	13
	III	3	5	10	15	20	25
	IV	4	8	15	23	30	38
	V	5	10	20	30	40	50
13 建具	無被害	0	0	0	0	0	0
5%	I	0	0	0	0	0	1
	II	0	0	1	1	1	1
	III	0	1	1	2	2	3
	IV	0	1	2	2	3	4
	V	1	1	2	3	4	5

3 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊	いずれかに該当												
4 傾斜	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>平均値</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>		①	②	③	④	平均値							<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	①	②	③	④	平均値									
5 傾斜確認	<input type="checkbox"/> 傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cmの場合)以上 <input type="checkbox"/> 基礎ぐいを用いる住家について傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cmの場合)以上かつ最大沈下量又は最大露出量30cm以上	いずれかに該当 該当しない場合は、2頁「6」以降へ												
8 外部仕上・雑壁・屋根	面積率	~10% ~20% ~40% ~60% ~80% ~100%	計											
10%	無被害	0	0	0	0	0	0							
	I	0	0	0	1	1	1							
	II	0	1	1	2	2	3							
	III	1	1	2	3	4	5							
	IV	1	2	3	5	6	8							
10% 10 床・梁	面積率	~10% ~20% ~40% ~60% ~80% ~100%	床計											
10%	無被害	0	0	0	0	0	0							
	I	0	0	0	1	1	1							
	II	0	1	1	2	2	3							
	III	1	1	2	3	4	5							
	IV	1	2	3	5	6	8							
10% 11 柱(又は耐力壁)	面積・本数率	~10% ~20% ~40% ~60% ~80% ~100%	計											
50%	無被害	0	0	0	0	0	0							
	I	1	1	2	3	4	5							
	II	1	3	5	8	10	13							
	III	3	5	10	15	20	25							
	IV	4	8	15	23	30	38							
12 設備等(住家内)	設備	1% 浴室 配管のズレ等 2% バスタブの割れ等 3% 再使用が不可能		損害割合	計									
10%	設備等(住家内)	1% 台所 配管のズレ等 2% 再使用は可能だが大きく破損 3% 再使用が不可能												
	その他	4%												
14 設備等(住家外)	設備	高架水槽・受水槽 外部階段 その他		損害割合	計									
5%														

【損害割合算出表】	4傾斜	8外部仕上・雑壁・屋根	9内部仕上・天井	10床・梁 ※大きい方	11柱(又は耐力壁)	12設備等(住家内)	13建具	14設備等(住家外)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

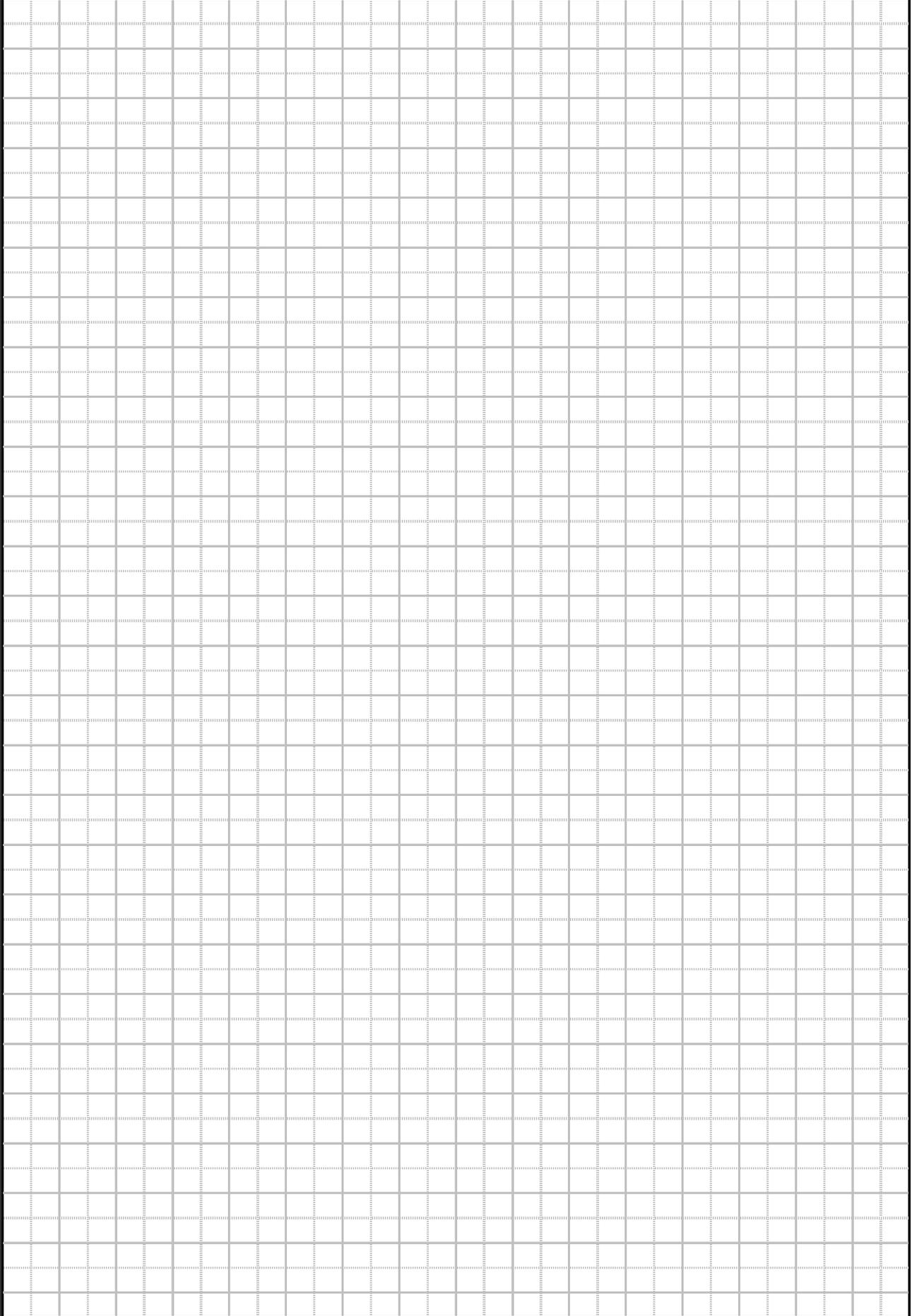
判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定
調査票
地震
非木造
第2次-2

調査票
番号

()階平面図

6



住家被害認定調査票 地盤被害による被害 木造・プレハブ 第1次		調査票番号	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
				配置状況
調査日	令和	年	月	日
1 調査時	: ~ :			
調査員				
所在地				
世帯主				
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)			

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流出又はずれ落ち <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、かつ基礎直下の地盤が流出・陥没 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	いずれかに 該当	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	---	-------------	--------------------------------------

5 地盤	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
------	---	---------------	--------------------------------------

5 地盤	<input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面に潜り込み	損害割合 40%以上 50%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
------	--	------------------------	---

5 地盤	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面に潜り込み	損害割合 20%以上 30%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)
------	---	------------------------	--------------------------------------

不同沈下がある場合の傾斜の判定

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値
	水平距離(cm)					

7 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ (全壊)
-------------	--	---------------	--------------------------------------

7 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 40%以上 50%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (大規模半壊)
-------------	---	------------------------	---

7 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 20%以上 30%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ (半壊)
-------------	---	------------------------	--------------------------------------

(備考)

【判定表】

(注)地盤面下への潜り込み、不同沈下双方みられる場合には、双方の損害割合のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%以上30%未満	40%以上	50%以上	判定に至らない
		<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	<input type="checkbox"/> 水害等通常の被害認定調査へ

住家被害認定調査票					
地盤被害による被害 木造・プレハブ 第2次	調査票番号				
1 調査日	令和 年 月 日				
1 調査時	: ~ :				
調査員					
所在地					
世帯主					
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				

3	外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊又は住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 住家全部が流出又はずり落ち <input type="checkbox"/> 地盤被害により基礎に著しい損傷 <input type="checkbox"/> 地盤面の亀裂が住家直下を縦断・横断	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
----------	-----------	--	----------------------------------

4	傾斜	水平距離(c m) ① ② ③ ④	平均値 6cm以上(下げ振り120cmの)	
----------	-----------	-------------------------------	--------------------------	--

5	地盤	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み <input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み <input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み <input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのうち、地盤面下に潜り込んでいない部分がある	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊) 【計算方法早見表】へ
----------	-----------	--	---------------	--

6cm未満(下げ振り120cmの場合)

6	不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合) <input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合) <input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合) <input type="checkbox"/> 1.2cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊) 【計算方法早見表】へ
----------	------------------	--	---------------	--

【計算方法早見表】

		地盤(潜り込み)		
		床上以上	基礎の天端下25cm以上	基礎の天端下25cm未満
傾斜	(下げ振り120cmの場合)	2cm以上6cm未満	【損害割合算出表】①へ	【損害割合算出表】④へ
	1.2cm以上2cm未満	【損害割合算出表】②へ	【損害割合算出表】⑤へ	【損害割合算出表】⑧へ
	1.2cm未満	【損害割合算出表】③へ	【損害割合算出表】⑥へ	通常の【損害割合算出表】へ

【損害割合算出表】

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1階の床面積(カ)									
住家の延べ床面積(キ)									
カ/キ									
1階の床面積割合(ク)									
		ク×20	ク×20	ク×30				ク×10	
9	外壁	10							
13	内壁	10							
15	床(階段含)	10	10		10			10	
5	基礎	10	10	10	10	10		35	
11	柱(又は耐力壁)	15	11%以上で全壊	11%以上で全壊	25	11%以上で全壊	11%以上で全壊	25	11%以上で全壊
10	屋根	15							
12	天井	5							
14	建具	15							
16	設備	10							
計									

	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
判定		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定調査票 地盤被害による被害 非木造 第1次		調査票番号	配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載	
				調査日 令和 年 月 日	1 調査時 : ~ :
調査員					
所在地					
世帯主					
2 住家 <input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)					

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊	該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面下に潜り込み	損害割合 40%以上 50%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ(大規模半壊)
<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面下に潜り込み		損害割合 20%以上 30%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ(半壊)

不同沈下がある場合の傾斜の判定

6 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値
	水平距離(cm)					

7 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 40%以上 50%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ(大規模半壊)
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)	損害割合 20%以上 30%未満	<input type="checkbox"/> 判定へ(半壊)

(備考)

【判定表】

(注)地盤面下への潜り込み、不同沈下双方みられる場合には、双方の損害割合のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	20%以上30%未満	40%以上	50%以上	判定に至らない
	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊	<input type="checkbox"/> 水害等通常の被害認定調査へ	

住家被害認定調査票 地盤被害による被害 非木造 第2次		調査票番号 _____
調査日 令和____年____月____日		
1 調査時 _____ : _____ ~ _____ : _____		
調査員 _____		
所在地 _____		
世帯主 _____		
2 住家 <input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)		

3 外観 <input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
---	----------------------------------

4 傾斜 水平距離 (cm)	①		平均値 _____	6cm以上(下げ振り120cmの) 当該に
	②			
	③			
	④			

5 地盤	<input type="checkbox"/> 床上1mまでのすべての部分が地盤面に潜り込み	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 床までのすべての部分が地盤面に潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのすべての部分が地盤面に潜り込み		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 基礎の天端下25cmまでのうち、地盤面に潜り込んでいない部分がある		【計算方法早見表】へ

不同沈下がある場合の傾斜の判定(傾斜は「4」の値を利用)

6 不同沈下のある傾斜	<input type="checkbox"/> 6cm以上(下げ振り120cmの場合)	損害割合 50%以上	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	<input type="checkbox"/> 2cm以上6cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm以上2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ
	<input type="checkbox"/> 1.2cm未満(下げ振り120cmの場合)		【計算方法早見表】へ

【計算方法早見表】

		地盤(潜り込み)		
(下げ振り120cmの場合)		床上まで	基礎の天端下25cmまで	基礎の天端下25cm未満
傾斜	2cm以上6cm未満	【損害割合算出表】①へ	【損害割合算出表】④へ	【損害割合算出表】⑦へ
	1.2cm以上2cm未満	【損害割合算出表】②へ	【損害割合算出表】⑤へ	【損害割合算出表】⑧へ
	1.2cm未満	【損害割合算出表】③へ	【損害割合算出表】⑥へ	通常の【損害割合算出表】へ

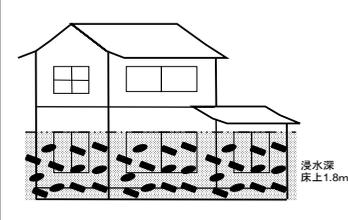
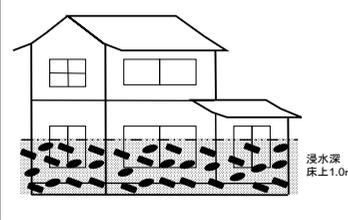
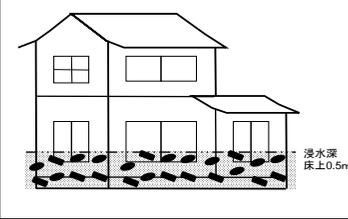
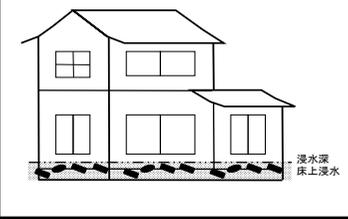
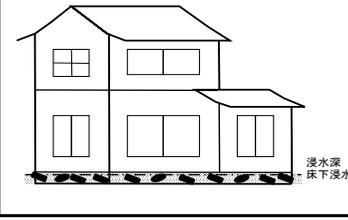
【損害割合算出表】

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1階の床面積(カ)									
1棟の延べ床面積(キ)									
カ/キ									
1階の床面積割合(ク)									
		ク×20	ク×20	ク×30			ク×10		
8 外部仕上・雑壁・屋根	10								
9 内部仕上・天井	10								
10 床・梁	10	不同沈下がある場合 35 不同沈下がない場合 25	10	算出した損傷割合に+10(最大50) <small>※算出した損傷割合が38%以上で全壊</small>	不同沈下がある場合 35 不同沈下がない場合 25	10	算出した損傷割合に+10(最大50) <small>※算出した損傷割合が38%以上で全壊</small>	算出した損傷割合に+10(最大50) <small>※算出した損傷割合が38%以上で全壊</small>	不同沈下がある場合 35 不同沈下がない場合 25
11 柱(又は耐力壁)	50								※38%以上で全壊
12 設備等(住家内)	10								
13 建具	5								
14 設備等(住家外)	5								
計									

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ 第1次A(外壁及び建具の破壊あり)	調査票番号		3 配置状況 ■判定した住家の範囲が分かるように記載
	調査日	令和 年 月 日	
	1 調査時	: ~ :	
	調査員		
	所在地		
世帯主			

2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)	いずれかに該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊) 該当しない項目がある → 本調査票以外の適切な調査票を利用 「5」～「7」すべてに該当
4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流失 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没	
5 構造	<input type="checkbox"/> 木造・プレハブである	
6 階高	<input type="checkbox"/> 住家が戸建ての1～2階建てである	
7 外力	<input type="checkbox"/> 津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されている(「外壁」及び「建具」のそれぞれ1箇所以上に損傷程度が50～100%(程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷が発生)	

8 浸水深					
	床上1.8m以上の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>	
	床上1m以上 1.8m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>	
	床上0.5m以上 1m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 30%以上	中規模半壊	<input type="checkbox"/>	
	床上0.5m未満の浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 20%以上	半壊	<input type="checkbox"/>	
	床下浸水 (浸水深の最も浅い部分で測定)	住家の損害割合 10%未満	準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/>	

判定	損害割合	10%未満	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定 調査票 水害 木造・プレハブ		調査票 番号	サンプル調査 (戸建て1～2階建てで津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されている場合)	
サンプル調査A (その1)			2 住家	<input type="checkbox"/> 区域内に住家がある (居住のために使用されている)
1 調査日	令和 年 月 日	3 構造	<input type="checkbox"/> 2のうち、木造・プレハブの住家がある	
調査時	: ~ :	4 階高	<input type="checkbox"/> 3のうち、木造・プレハブの戸建ての1～2階建ての住家がある	
調査員		5 外力	<input type="checkbox"/> 4の住家について津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されている(「外壁」及び「建具」のそれぞれ1箇所以上に損傷程度が50～100%(程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷が発生)	
所在地				
世帯主				

6 区域図

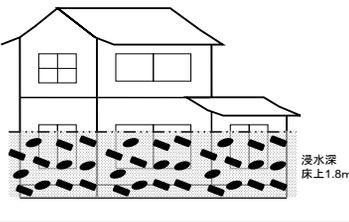
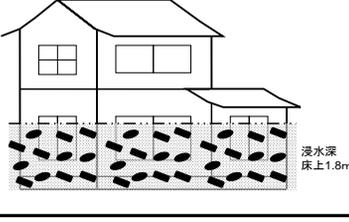
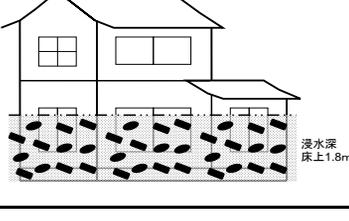
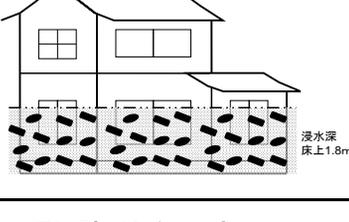
サンプル調査を行う区域の図面を添付。図面ではすべての住家の住棟の形と地形が明確であること
 サンプル調査を行った四隅の住家について、それぞれA,B,C,Dのマークを施し、「その2」の調査票で調査結果を記載すること。

判定	区域内における木造・プレハブの戸建ての1～2階建てのすべての住家※	50%以上
		<input type="checkbox"/> 全壊

※区域内の木造・プレハブの戸建ての1～2階建ての住家以外の住家については、別途個別に調査を行う。

住家被害認定 調査票 水害 木造・プレハブ サンプル調査A (その2)	調査票 番 号		サンプル調査 (戸建て1～2階建てで津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されている場合)

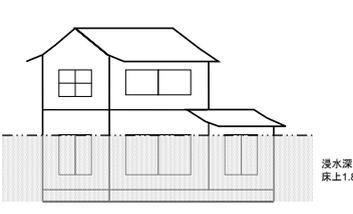
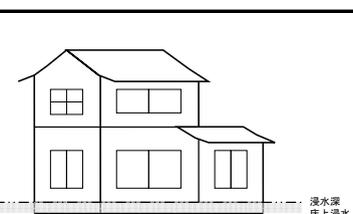
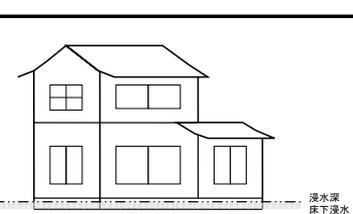
6 サンプル調査結果

A	 <small>浸水深 床上1.8m</small>	床上1.8m以上の浸水 <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				
B	 <small>浸水深 床上1.8m</small>	床上1.8m以上の浸水 <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				
C	 <small>浸水深 床上1.8m</small>	床上1.8m以上の浸水 <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				
D	 <small>浸水深 床上1.8m</small>	床上1.8m以上の浸水 <small>(浸水深の最も浅い部分で測定)</small>	住家の損害割合 50%以上	全壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ 第1次B(外壁及び建具の破壊なし)	調査票番号		3	
調査日	令和	年	月	日
1 調査時	:	~	:	
調査員				
所在地				
世帯主				

2	住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)	
4	外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流失 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没	いずれかに該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
5	構造	<input type="checkbox"/> 木造・プレハブである	該当しない項目がある → 本調査票以外の適切な調査票を利用 「5」～「7」すべてに該当
6	階高	<input type="checkbox"/> 住家が戸建ての1～2階建てである	
7	外力	<input type="checkbox"/> 津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等によりが外壁及び建具が破壊されているとはいえない(「外壁」又は「建具」のいずれかに損傷程度が50～100%(程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷が発生、又はいずれにも発生していない)	

8	浸水深
----------	-----

	床上1.8m以上	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>
	床上1m以上 1.8m未満の浸水	住家の損害割合 30%以上	中規模半壊	<input type="checkbox"/>
	床上0.1m以上 1m未満の浸水	住家の損害割合 20%以上	半壊	<input type="checkbox"/>
	床上0.1m未満の浸水	住家の損害割合 10%以上	準半壊	<input type="checkbox"/>
	床下浸水	住家の損害割合 10%未満	準半壊に 至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/>

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ サンプル調査B (その1)		調査票番号	サンプル調査 (戸建て1～2階建てで津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されていない場合)		
1	調査日	令和 年 月 日	2 住家	<input type="checkbox"/> 区域内に住家がある (居住のために使用されている)	「2」～「4」に該当しない項目がある サンプル調査を行うには不適当であり、区域を見直す又は個別に調査を行う。
	調査時	: ~ :	3 構造	<input type="checkbox"/> 2のうち、木造・プレハブの住家がある	
	調査員		4 階高	<input type="checkbox"/> 3のうち、木造・プレハブの戸建ての1～2階建ての住家がある	
	所在地		5 外力	<input type="checkbox"/> 4の住家について津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されているとはいえない(「外壁」又は「建具」のいずれかに損傷程度が50～100%(程度Ⅲ～Ⅴで、浸水による損傷を除く。)に該当する損傷が発生、又はいずれにも発生していない)	
	世帯主		「5」に該当しない サンプル調査Aを検討する。		
「2」～「5」すべてに該当					

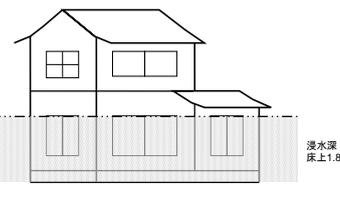
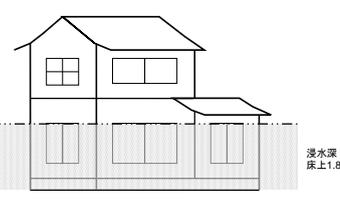
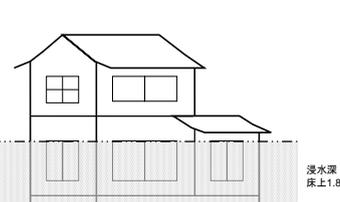
6 区域図	
<p>サンプル調査を行う区域の図面を添付。図面ではすべての住家の住棟の形と地形が明確であること サンプル調査を行った四隅の住家について、それぞれA,B,C,Dのマークを施し、「その2」の調査票で調査結果を記載すること。</p>	

判定	区域内における木造・プレハブの戸建ての1～2階建てのすべての住家※	40%以上
		<input type="checkbox"/> 大規模半壊

※区域内の木造・プレハブの戸建ての1～2階建ての住家以外の住家については、別途個別に調査を行う。

住家被害認定 調査票 水害 木造・プレハブ サンプル調査B (その2)	調査票 番 号		サンプル調査 (戸建て1～2階建てで津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されていない場合)

6 サンプル調査結果

A		床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>
B		床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>
C		床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>
D		床上1.8m以上の浸水	住家の損害割合 40%以上	大規模半壊	<input type="checkbox"/>
	上記に該当しない(床上1.8m未満の浸水)				<input type="checkbox"/>

住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ 第2次A-1		調査票 番号	■戸建て1~2階建てで津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されている場合 ■戸建ての1~2階建てでない場合 ■判定した住家の範囲が分かるように記載
調査日 令和 年 月 日	3 配置状況		
1 調査時			
調査員			
所在地			
世帯主			
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)		

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流失 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没					いずれかに該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)			
5 傾斜	測定箇所	(1)	(2)	(3)	(4)	平均値	6cm以上 (下げ振り) → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)		
6 躯体	<input type="checkbox"/> 柱(又は耐力壁)又は基礎の損傷率が75%以上である					損傷率 75%以上 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)			
7 基礎	外力等	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%	計	「8」以降へ →
	汚泥	0	1	2	4	6	7		
		0		1 (□床下に汚泥が堆積している。)					

【損害割合算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
 h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (□傾斜が2cm以上)傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≦い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
10 外壁	10							
11 内壁	10							
12 床(階敷含)	10							
7 基礎	10	「7.基礎」の損害割合						
13 柱(又は耐力壁)	15			11%以上で全壊				
14 屋根	15							
15 天井	5							
16 建具	15							
17 設備	10							
		計		あ			い	15% う

※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。

「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」)の中で最大の値を住家の損害割合とする。

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		□ 準半壊に至らない(一部損壊)	□ 準半壊	□ 半壊	□ 中規模半壊	□ 大規模半壊	□ 全壊

住家被害認定
調査票

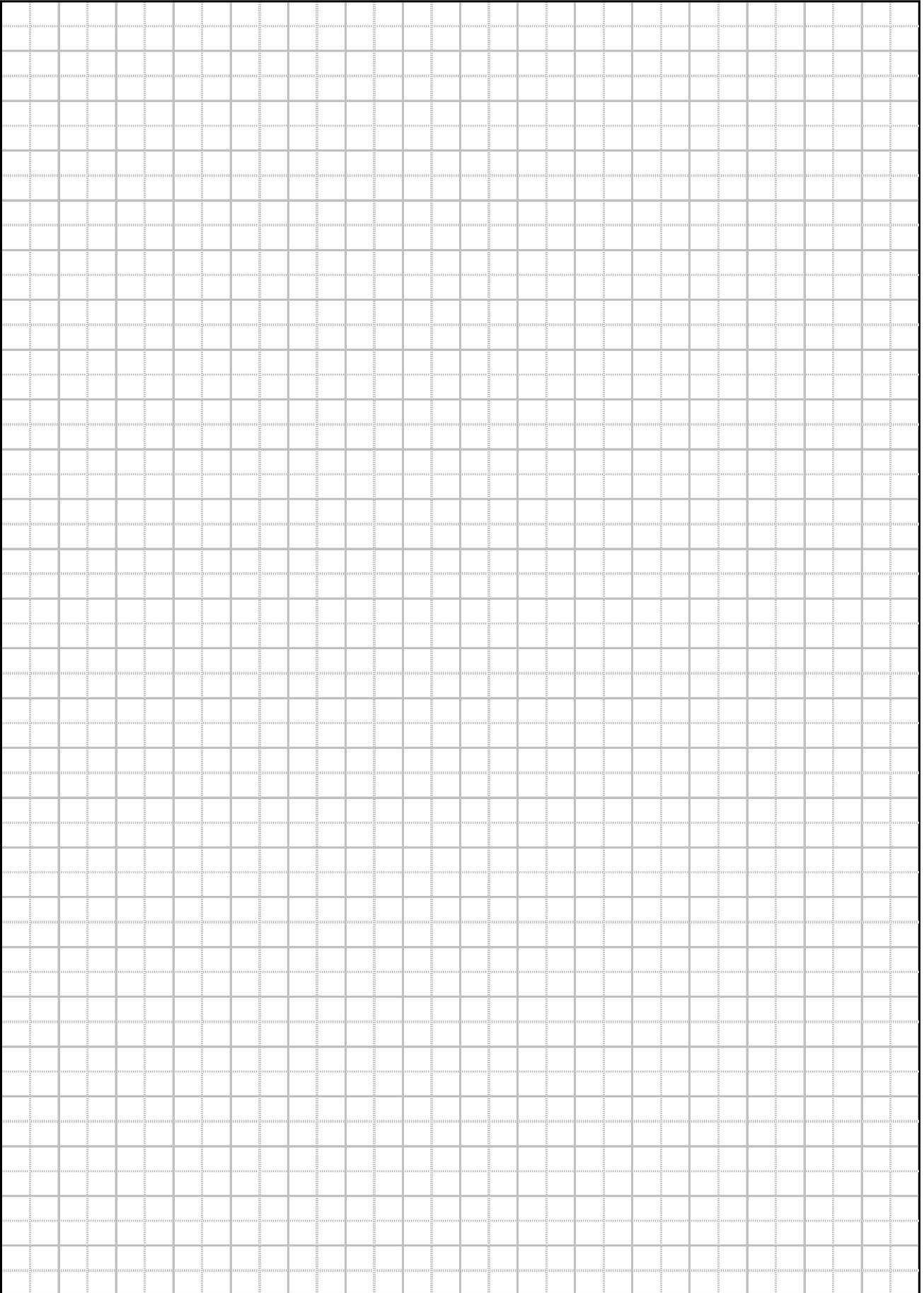
水害
木造・プレハブ
第2次A-2

調査票
番号

主要階 ・ その他階

()階平面図 ・ 屋根伏図

8



住家被害認定 調査票	調査票 番号	
		水害 木造・プレハブ 第2次A-3

		主要階	その他階	計	
9	面積率	床	(1)	(2)	1.0
		屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	
10	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
計									
11	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
計									
12	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(1)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
計									
13	柱 (又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
	15%	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(1)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
計									

		その他階							
	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	
10	外壁	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
計									
11	内壁	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
計									
12	床 (階段含)	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
	10%	程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	計×(2)
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
計									
13	柱 (又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	0	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
	15%	程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	計×(2)
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
計									

		階		損傷の状況			
17	設備	浴室 (3%以内)	主要階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等	その他 (左記以外 の水回り、 ペランダ等 4%以内)	B	計
		台所 (3%以内)	主要階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能			

		主要階/その他階		損傷の状況		%		計	
17	設備	浴室 (3%以内)	主要階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等	その他 (左記以外 の水回り、 ペランダ等 4%以内)	B	計	主要階	C
		台所 (3%以内)	主要階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能					

住家被害認定調査票		調査票番号		■戸建て1~2階建てで津波や河川の氾濫に伴う水流やがれきの衝突等により外壁及び建具が破壊されていない場合 ■判定した住家の範囲が分かるように記載	
水害 木造・プレハブ 第2次B-1				配置状況	
調査日	令和 年 月 日				
1 調査時	: ~ :				
調査員					
所在地					
世帯主					
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊 <input type="checkbox"/> 一見して住家全部が流失 <input type="checkbox"/> 基礎のいずれかの辺が全部破壊し、基礎直下の地盤が流出・陥没					いずれかに該当	□判定へ (全壊)		
5 傾斜	測定箇所	(1)	(2)	(3)	(4)	平均値		6cm以上 (下げ振り)	
6 躯体	<input type="checkbox"/> 柱(又は耐力壁)又は基礎の損傷率が75%以上である					損傷率 75%以上	□判定へ (全壊)		
7 基礎	外力等	0%	~10%	~20%	~40%	~60%		~74%	計
	損傷率	0	1	2	4	6	7		
	汚泥	0		1 (□床下に汚泥が堆積している。)					

【損害割合算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別 損害割合	階別重み付け		重み付き 損害割合	h (□傾斜が 2cm以上) 傾斜を考慮し た損害割合 あ>い→d あ≦い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B※	C※	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
10 外壁	10							
11 内壁	10							
12 床 (階敷含)	10							
7 基礎	10	「7.基礎」の損害割合						
13 柱(又は 耐力壁)	15			11%以上で全壊				
14 屋根	15							
15 天井	5							
16 建具	15							
17 設備	10							
		計		あ			い	15% う

※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。

「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合)は、「あ」、「い」又は「う」の中で最大の値を住家の損害割合とする。

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定
調査票

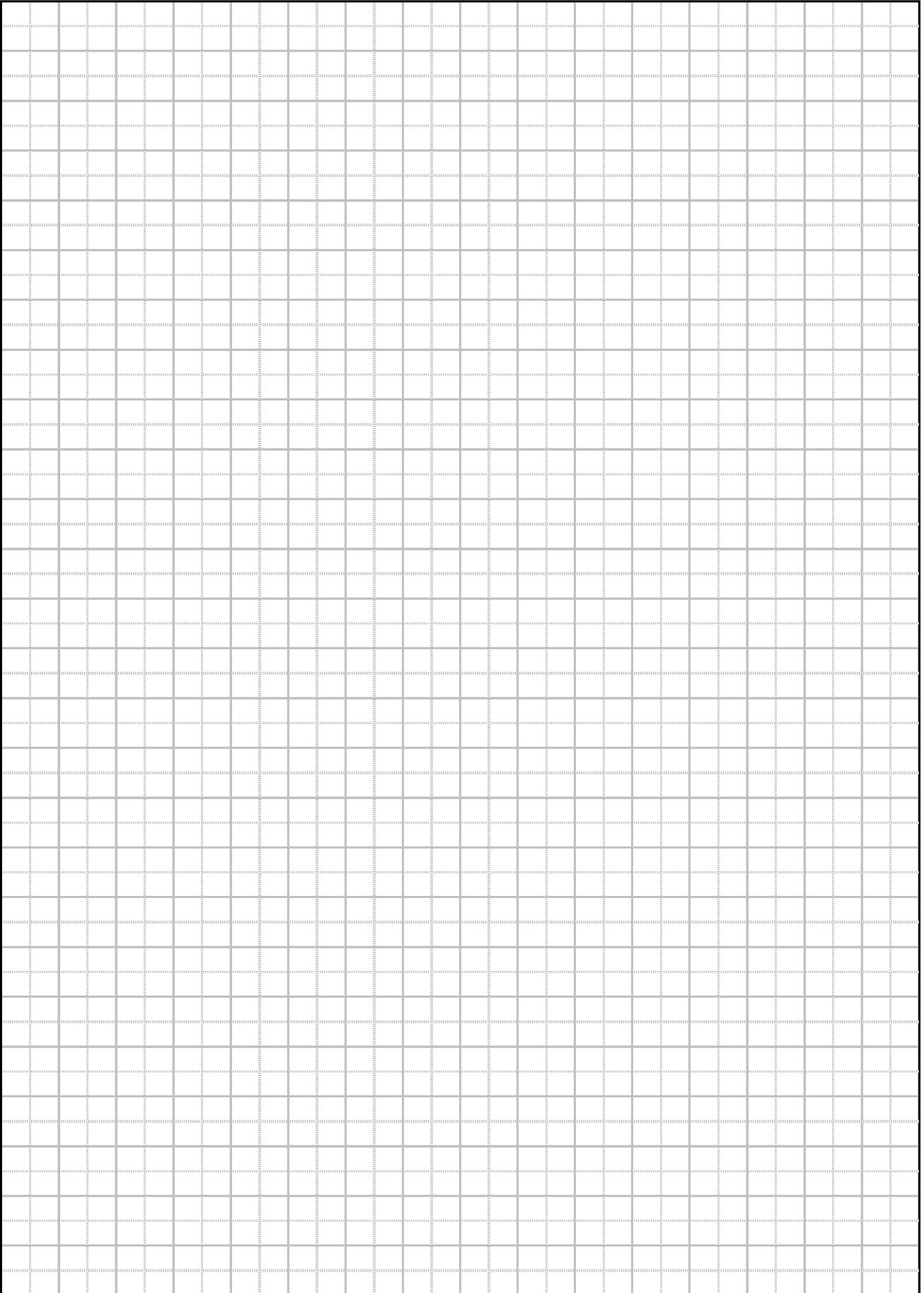
水害
木造・プレハブ
第2次B-2

調査票
番号

主要階 ・ その他階

()階平面図 ・ 屋根伏図

8



住家被害認定調査票 水害 木造・プレハブ 第2次B-3	調査票番号

9	面積率	床	主要階 (1)	その他階 (2)	計 1.0
		屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
10	外壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		10%	無被害	0	0	0	0	0	0
程度Ⅰ	0		0	0	1	1	1		
程度Ⅱ	0		1	1	2	2	3		
程度Ⅲ	1		1	2	3	4	5		
程度Ⅳ	1		2	3	5	6	8		
程度Ⅴ	1		2	4	6	8	10		
11	内壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1) B
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
12	床 (階段含)	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1) B
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
13	柱 (又は耐力壁)	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1) B
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
14	屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3) B
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
15	天井	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1) B
程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1			
程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1			
程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
16	建具	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1) B
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			

		その他階							
9	面積率	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		10%	無被害	0	0	0	0	0	0
程度Ⅰ	0		0	0	1	1	1		
程度Ⅱ	0		1	1	2	2	3		
程度Ⅲ	1		1	2	3	4	5		
程度Ⅳ	1		2	3	5	6	8		
程度Ⅴ	1		2	4	6	8	10		
11	内壁	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2) C
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
12	床 (階段含)	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2) C
程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1			
程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5			
程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10			
13	柱 (又は耐力壁)	本数(面積)率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2) C
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
14	屋根	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4) C
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			
15	天井	面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2) C
程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1			
程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1			
程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3			
程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5			
16	建具	枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
		無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2) C
程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2			
程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4			
程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8			
程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11			
程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15			

		階	損傷の状況	主要階/その他階	損傷の状況	%	計
17	設備	浴室 (3%以内)	主要階 ・ その他階 1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能	その他 (左記以外 の水回り、 ベランダ等 4%以内)			B
	10%	台所 (3%以内)	主要階 ・ その他階 1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能				C

住家被害認定調査票		調査票番号	3	配置状況	■判定した住家の範囲が分かるように記載
水害非木造-1					
調査日	令和 年 月 日				
1 調査時	: ~ :				
調査員					
所在地					
世帯主					
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				

4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊	該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
5 傾斜	① ② ③ ④ 平均値		いずれかに該当
6 傾斜確認	<input type="checkbox"/> 傾斜の平均値が4cm(下げ振り120cmの場合)以上 <input type="checkbox"/> (基礎ぐいを用いる住家について) 傾斜の平均値が2cm(下げ振り120cmの場合)以上4cm未満かつ最大沈下量又は最大露出量30cm以上	該当しない	

7 構造の確認	<input type="checkbox"/> 鉄骨造の場合 柱(本数で判定) 柱が見えない場合	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの場合 ・ラーメン構造の場合 柱(本数で判定) ・壁式構造の場合 耐力壁(面積で判定)
	耐力壁(ブレース数で判定) 耐力壁が見えない場合	
	外部仕上げ(面積で判定)	

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
9 無被害	0	0	0	0	0	0	
外部仕上・雑壁・屋根	I	0	0	1	1	1	
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
10 無被害	0	0	0	0	0	0	
内部仕上・天井	I	0	0	1	1	1	
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							

面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	床計
11 無被害	0	0	0	0	0	0	
床・梁	I	0	0	1	1	1	
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							※8%以上で全壊

面積・本数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
12 無被害	0	0	0	0	0	0	※98%以上で全壊
柱(又は耐力壁)	I	1	1	2	3	4	5
	II	1	3	5	8	10	13
	III	3	5	10	15	20	25
	IV	4	8	15	23	30	38
	V	5	10	20	30	40	50
50%							

枚数率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
14 無被害	0	0	0	0	0	0	
建具	I	0	0	0	0	1	
	II	0	0	1	1	1	1
	III	0	1	1	2	2	3
	IV	0	1	2	2	3	4
	V	1	1	2	3	4	5
5%							

設備	損傷の状況			損害割合	計
13 設備等(住家内)	浴室	1% 配管のズレ	2% バスタブの割れ等	3% 再使用が不可能	
	台所	1% 配管のズレ等	2% 再使用は可能だが大きく破損	3% 再使用が不可能	
	その他	4%			
10%					

設備	損傷の状況			損害割合	計
15 設備等(住家外)	高架水槽・受水槽				
	外部階段				
	その他				
5%					

【損害割合算出表】	5傾斜	9外部仕上・雑壁・屋根	10内部仕上・天井	11床・梁 ※大きい方	12柱(又は耐力壁)	13設備等(住家内)	14建具	15設備等(住家外)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

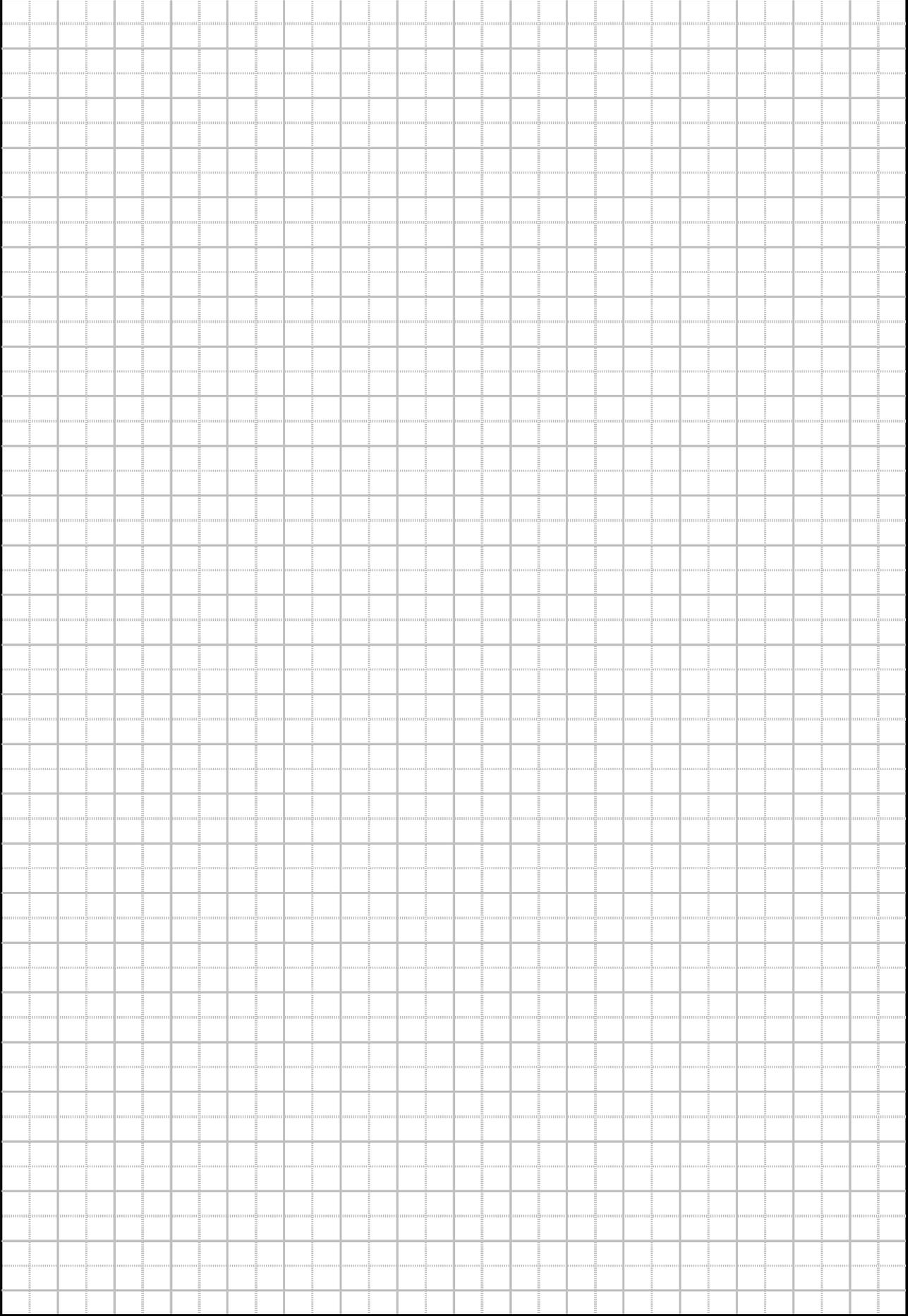
住家被害認定
調査票

水害
非木造-2

調査票
番号

()階平面図

8



住家被害認定調査票 風害 木造・プレハブ -1		調査票番号		■判定した住家の範囲が分かるように記載				
調査日 令和 年 月 日		3 配置状況						
1 調査時	: ~ :							
調査員								
所在地								
世帯主								
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)							
4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 又は 住家の一部の階が全部倒壊			該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)			
5 傾斜	測定箇所	①	②	③	④	平均値	6cm以上 (下げ振り120cmの場合)	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)
	水平距離(cm)							
6 屋根等	<input type="checkbox"/> 屋根等に脱落、破損等の損傷が生じておらず、住家内への浸水のおそれがない			該当	<input type="checkbox"/> 判定へ(準半壊に至らない(一部損壊))			
7 躯体	<input type="checkbox"/> 基礎又は柱(又は耐力壁)の損傷率が75%以上である			損傷率	<input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)			
8 基礎	損傷率	0%	~10%	~20%	~40%	~60%	~74%	「9」以降へ
	損害割合	0	1	2	4	6	7	

【損害割合算出表】

(注)d・g列は、四捨五入した値を記入する。
h列は、傾斜が2cm以上の場合のみ記入する。

部位	構成比	階別部位別損害割合		部位別損害割合	階別重み付け		重み付き損害割合	h (<input type="checkbox"/> 傾斜が2cm以上) 傾斜を考慮した損害割合 あ>い→d あ≤い→g
		主要階	その他階		主要階	その他階		
		B*	C*	b+c	b×1.25	c×0.5	e+f (e+f>a→a)	
11 外壁	10							
12 内壁	10							
13 床(階段含)	10							
8 基礎	10	「8.基礎」の損害割合 →						
14 柱(又は耐力壁)	15			11%以上で全壊				
15 屋根	15							
16 天井	5							
17 建具	15							
18 設備	10							

※ B及びCは、調査票3頁のB及びCの値とする。

計	あ	「あ」又は「い」(傾斜が2cm以上の場合は、「あ」、「い」又は「う」の中で最大の値を住家の損害割合とする。	い	う	15%
---	---	---	---	---	-----

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
		<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊	<input type="checkbox"/> 全壊

住家被害認定
調査票

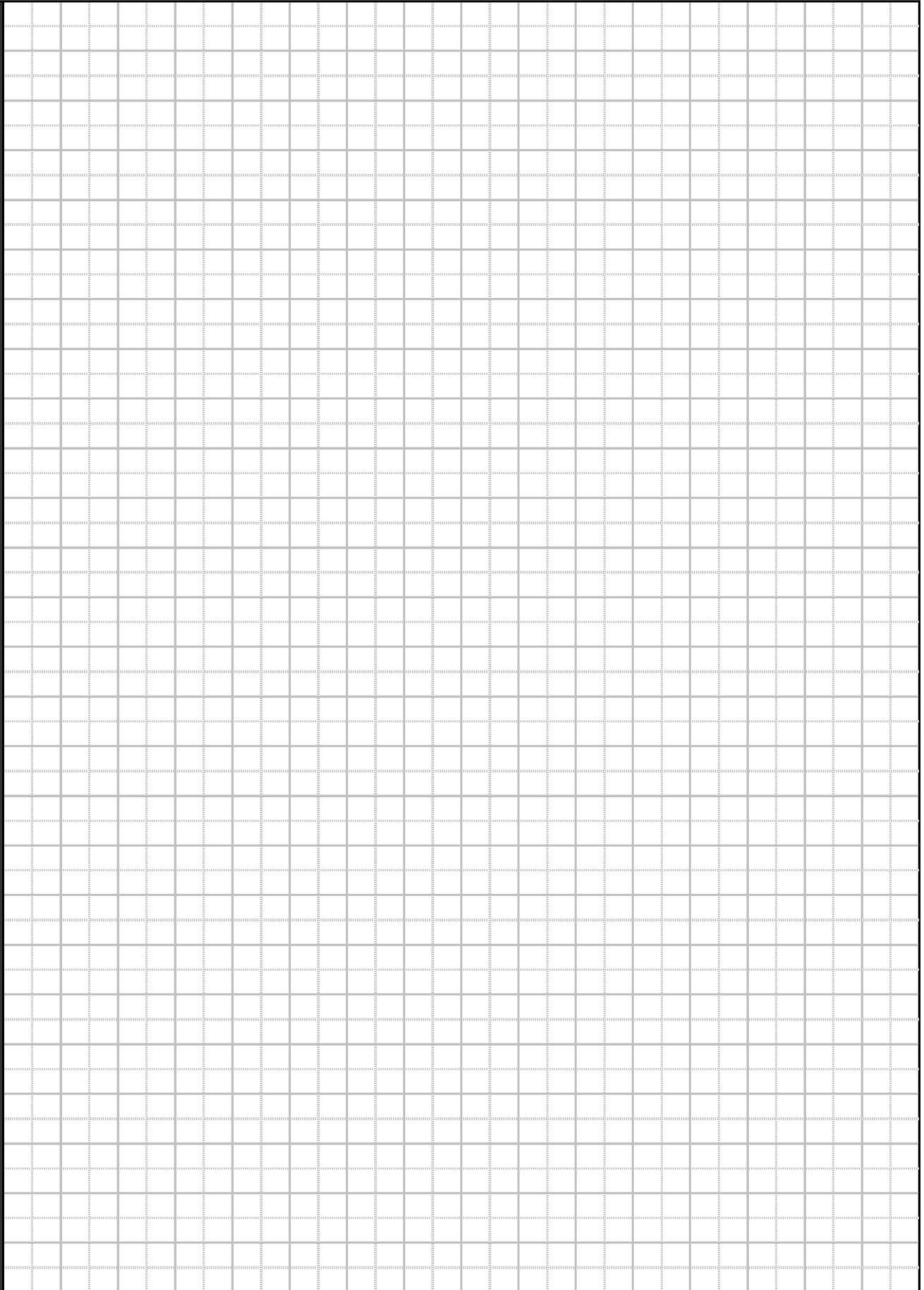
風害
木造・プレハブ
-2

調査票
番号

主要階 ・ その他階

()階平面図 ・ 屋根伏図

9



住家被害認定 調査票	調査票 番号	
		風害 木造・プレハブ -3

		主要階	その他階	計	
10	面積率	床	(1)	(2)	1.0
		屋根	(3)	(4)	1.0

		主要階							
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計
11	外壁 10%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
12	内壁 10%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
13	床 (階段含) 10%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1	
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3	
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	B
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8	
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10	
14	柱 (又は耐力壁) 15%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
15	屋根 15%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(3)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	
16	天井 5%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1	
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1	
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	B
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5	
17	建具 15%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(1)
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2	
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4	
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	B
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11	
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15	

		その他階								
		面積率	~10%	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	計	
11	外壁 10%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1		
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3		
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C	
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10		
12	内壁 10%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1		
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3		
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C	
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10		
13	床 (階段含) 10%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)	
		程度Ⅰ	0	0	0	1	1	1		
		程度Ⅱ	0	1	1	2	2	3		
		程度Ⅲ	1	1	2	3	4	5	C	
		程度Ⅳ	1	2	3	5	6	8		
		程度Ⅴ	1	2	4	6	8	10		
14	柱 (又は耐力壁) 15%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2		
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C	
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15		
15	屋根 15%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(4)	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2		
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C	
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15		
16	天井 5%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)	
		程度Ⅰ	0	0	0	0	0	1		
		程度Ⅱ	0	0	1	1	1	1		
		程度Ⅲ	0	1	1	2	2	3	C	
		程度Ⅳ	0	1	2	2	3	4		
		程度Ⅴ	1	1	2	3	4	5		
17	建具 15%	無被害	0	0	0	0	0	0	計×(2)	
		程度Ⅰ	0	0	1	1	1	2		
		程度Ⅱ	0	1	2	2	3	4		
		程度Ⅲ	1	2	3	5	6	8	C	
		程度Ⅳ	1	2	5	7	9	11		
		程度Ⅴ	2	3	6	9	12	15		
18	設備 10%	浴室 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. バスタブの割れ等 3%. 再使用が不可能				その他 (左記以外 の水回り、 ペランダ等 4%以内)	主要階	B
		台所 (3%以内)	主要階 ・ その他階	1%. 配管のズレ等 2%. 再使用は可能だが大きく破損 3%. 再使用が不可能					その他階	C

住家被害認定調査票 風害 非木造-1		調査票 番号			
調査日 令和 年 月 日		3 配置状況		■判定した住家の範囲が分かるように記載	
1 調査時	: ~ :				
調査員					
所在地					
世帯主					
2 住家	<input type="checkbox"/> 住家である(居住のために使用されている)				
4 外観	<input type="checkbox"/> 住家全部が倒壊 <input type="checkbox"/> 住家の一部の階が全部倒壊		該当 → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊)	該当なし → <input type="checkbox"/> 判定へ(一部損壊10%未満)	
5 傾斜	①	②	③	④	平均値
	4cm以上(下げ振り120cmの場合) → <input type="checkbox"/> 判定へ(全壊) 2cm以上4cm未満(下げ振り120cmの場合)又は外観に外力による損傷あり → 「8」以降へ				
6 外部仕上等の損傷	<input type="checkbox"/> 外部仕上げ等に脱落・破損等の損傷が生じ、住家内への浸水の恐れがある。		該当なし → <input type="checkbox"/> 判定へ(一部損壊10%未満)		
7 構造の確認	<input type="checkbox"/> 鉄骨造の場合 柱(本数で判定) ▼柱が見えない場合 耐力壁(ブレース数で判定) ▼耐力壁が見えない場合 外部仕上げ(面積で判定)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートの場合 ▼ラーメン構造の場合 柱(本数で判定) ▼壁式構造の場合 耐力壁(面積で判定)		

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
9 外部仕上・雑壁・屋根	無被害	0	0	0	0	0	
	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							
11 床・梁	無被害	0	0	0	0	0	
	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							
14 建具	無被害	0	0	0	0	0	
	I	0	0	0	0	0	1
	II	0	0	1	1	1	1
	III	0	1	1	2	2	3
	IV	0	1	2	2	3	4
	V	1	1	2	3	4	5
5%							

面積率	～10%	～20%	～40%	～60%	～80%	～100%	計
10 内部仕上・天井	無被害	0	0	0	0	0	
	I	0	0	0	1	1	1
	II	0	1	1	2	2	3
	III	1	1	2	3	4	5
	IV	1	2	3	5	6	8
	V	1	2	4	6	8	10
10%							
12 柱(又は耐力壁)	無被害	0	0	0	0	0	※38%以上で全壊
	I	1	1	2	3	4	5
	II	1	3	5	8	10	13
	III	3	5	10	15	20	25
	IV	4	8	15	23	30	38
	V	5	10	20	30	40	50
50%							
13 設備等(住家内)	浴室	1% 配管のズレ等		2% バスタブの割れ等		3% 再使用が不可能	
	台所	1% 配管のズレ等		2% 再使用は可能だが大きく破損		3% 再使用が不可能	
10%	その他	4%					
15 設備等(住家外)	設備	高架水槽・受水槽		損傷の状況		損害割合	
	外部階段						
	その他						
5%							

【損害割合算出表】	5傾斜	9外部仕上・雑壁・屋根	10内部仕上・天井	11床・梁 ※大きい方	12柱 (又は耐力壁)	13設備等 (住家内)	14建具	15設備等 (住家外)	計
傾斜無									あ
傾斜有	20								い

(注)「4傾斜」の平均値が2cm未満の場合「あ」を、2cm以上の場合「あ」又は「い」のうち大きい値を損害割合とする。

判定	損害割合	10%未満	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	50%以上
			<input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)	<input type="checkbox"/> 準半壊	<input type="checkbox"/> 半壊	<input type="checkbox"/> 中規模半壊	<input type="checkbox"/> 大規模半壊

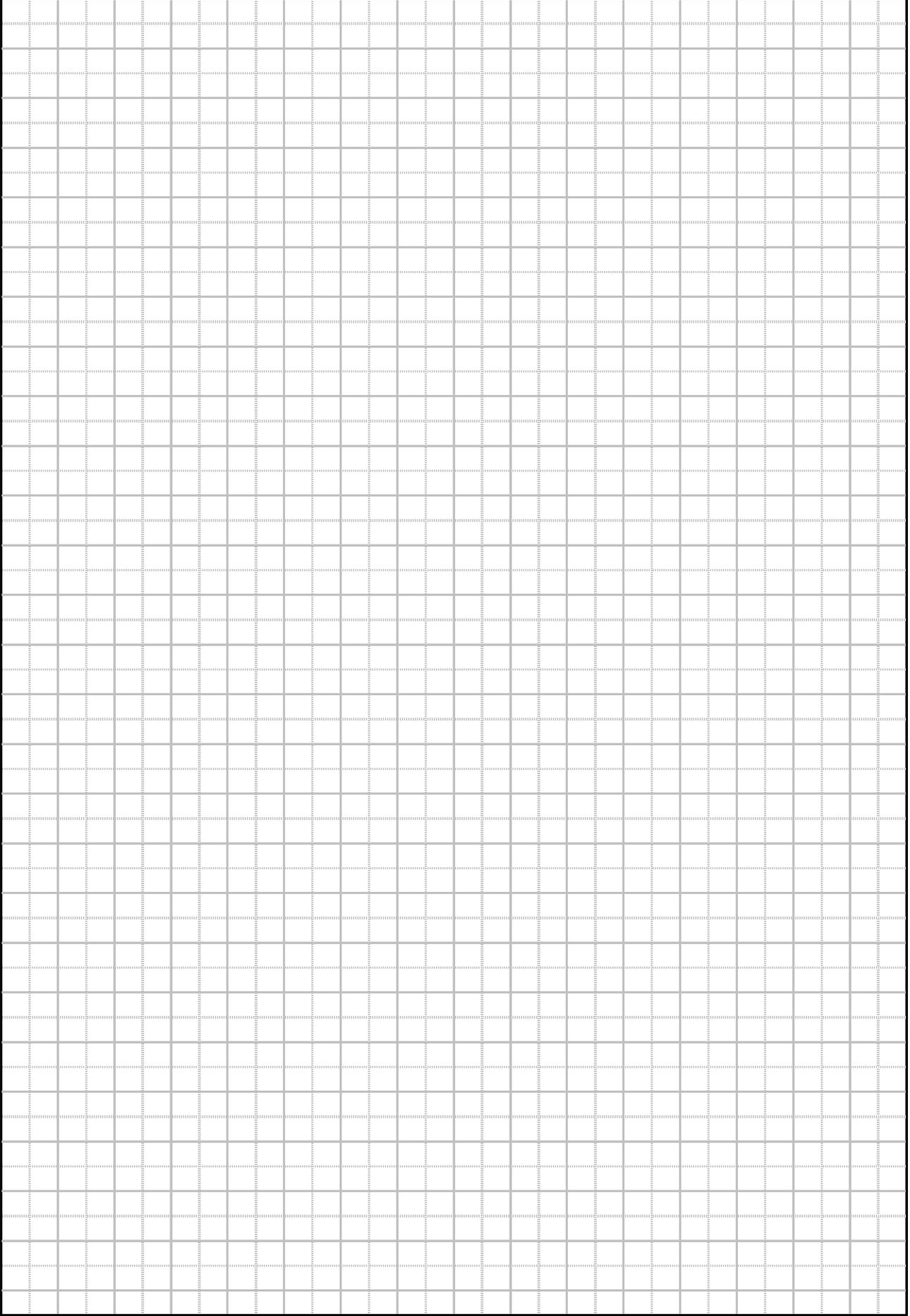
住家被害認定
調査票

風害
非木造-2

調査票
番号

()階平面図

8



家屋被害状況報告書

(資産税課⇒市災害対策本部)

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分		棟 数	世 帯 主	世 帯 人 員	被 害 金 額	被害程度及びその 応急対策状況
住 家 の 被 害	全 壊	棟	世帯 ()	人 ()	千円	
	大規模半壊		()	()		
	中規模半壊		()	()		
	半 壊		()	()		
	準半壊		()	()		
	一部損壊		()	()		
	床上浸水		()	()		
	床下浸水		()	()		
非住家 の被害						

- 注意事項
- ()内には、世帯数、世帯人員のうちり災世帯数、り災世帯人員を内書きすること。
 - 家屋被害状況調査票を添付すること。

様式第7（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

衛生施設関係被害状況報告書

（水道工務課・下水道課、市民課、健康推進課・ごみ資源循環課⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分		施 設 数	棟 数	被 害 金 額	備 考
医療関係施設	病 院			円	
	診 療 所				
	薬 局				
	小 計				
上水道施設	浄 水 場				
	水 道 管				
	そ の 他				
	小 計				
下水道施設	ポ ン プ 場				
	下 水 道 管				
	そ の 他				
	小 計				
環境衛生関係施設	し尿処理施設				
	ごみ処理施設				
	火 葬 場				
	そ の 他				
	小 計				
そ の 他					
合 計					
被害程度及びその応急対策状況					

商工業および観光施設関係被害状況報告書

（商工課⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分	被害件数	被害金額	内 訳				
			建 物		施 設	商 品	半原 製材 品料
			棟 数	被害額			
工 業		円		円	円	円	円
織 維							
機 械 金 属							
木 工							
陶 磁 器							
そ の 他							
小 計							
商 業							
観 光 関 係							
鉱 業							
そ の 他							
計							

被害程度及びその応急対策状況	
----------------	--

農業関係被害状況報告書

(農務課⇒市災害対策本部)

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

1 農 地

区 分	被害面積 (ha)	主 な 被 害 地 域
田	流失・埋没	
	冠 水	
畑	流失・埋没	
	冠 水	

2 農 作 物

区 分	種 類	被害面積	減 収 量	被害金額	主 な 被 害 地 域
	水 陸 稲	ha	t	円	
	麦 類				
野菜類					
	そ の 他				
	小 計				
果樹類					
	そ の 他				
	小 計				
その他					
	そ の 他				
	小 計				
合 計					

3 園芸施設

区分 施設名	全 壊		半 壊		一 部 破 損		計		被 害 面 積 ha	主 な 被害地域
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額		
計										

4 畜 産

区分 施設名	全 壊		半 壊		一 部 破 損		計		被 害 頭羽数	主 な 被害地域
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額		
計										

注意事項 被害程度及びその応急対策状況を別紙により添付すること。
「被害金額」は、千円単位とする。

社会福祉施設関係被害状況報告書（総括表）

（社会福祉課・障害福祉課・保育課・総合福祉センター⇒市災害対策本部）

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

被害区分		施設区分				被害程度及びその 応 急 対 策 状 況	
建 物	全 壊 (全 焼)	箇所数					
		金 額					
	半 壊 (半 焼)	箇所数					
		金 額					
	一部破損 (一部焼失)	箇所数					
		金 額					
	浸 水	床 上	箇所数				
			金 額				
	床 下	箇所数					
		金 額					
	そ の 他	箇所数					
		金 額					
そ の 他	工 作 物	箇所数					
		金 額					
	設 備 備 品	箇所数					
		金 額					
	土 地	箇所数					
		金 額					
	そ の 他	箇所数					
		金 額					
計	箇所数						
	金 額						

注意事項 「金額」は、千円単位とする。

社会福祉施設関係被害状況報告書 (個別表)

施設名	
安城保育園	
あけぼの保育園	
南部保育園	
西部保育園	
和泉保育園	
東端保育園	
城ヶ入こども園	
東部こども園	
高棚こども園	
志貴保育園	
小川保育園	
さくら保育園	
二本木保育園	
ゆたか保育園	
えのきこども園	
みのわ保育園	
新田保育園	
赤松保育園	
三ツ川こども園	
みその保育園	
桜井保育園	
錦保育園	
作野保育園	
光徳保育園	
安城北すずらん保育園	
よさみ保育園	
こひつじ保育園	
第2よさみ保育園	
ちいさなこだから保育園	
げんきのもり保育園	
じけいの森保育園	
てらベサニーサイド保育園	
ブライト保育園安城桜町	
麦のうさぎ保育園	
サルビア学園	
安城こども園	
さくのこども園	
安城北こども園	
東栄こども園	

施 設 名	
根 崎 こ ど も 園	
てらベクリエティブこども園	
子 宝 保 育 園	
慈 恵 幼 稚 園	
第 二 慈 恵 幼 稚 園	
に ほ ん ぎ 幼 稚 園	
桜 井 こ ど も 園	
スマイリーこども園さとまち	
合 計	

注意事項 被害を受けた各建物、工作物、設備・備品等について、それぞれごとに名称、数量（面積、個数等）、金額を記載すること。

様式第12 (風水害-第3編第3章第1節、地震-第3編第3章第1節)

土木施設関係被害状況報告書

(維持管理課⇒市災害対策本部)

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

区 分	箇 所 数	被害金額(千円)	備 考
道 路			
橋 梁			
河 川			
下 水 道			
公 園			
街 路 樹			
街 路 燈			
そ の 他			
計			

被害程度及びその応急対策状況	
----------------	--

文教施設関係被害状況報告書 (総括表)

(教育委員会⇒市災害対策本部)

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

被害区分		施設区分		小学校	中学校	高等学校	その他	計
		小学校	中学校					
建 物	全壊 (全焼)	箇所数						
		金額						
	半壊 (半焼)	箇所数						
		金額						
	一部破損 (一部焼失)	箇所数						
		金額						
	浸水	床上	箇所数					
			金額					
		床下	箇所数					
			金額					
	その他	箇所数						
		金額						
そ の 他	工作物	箇所数						
		金額						
	設備品	箇所数						
		金額						
	土地 (校地)	箇所数						
		金額						
	その他	箇所数						
		金額						
	計	箇所数						
		金額						

- 注意事項
- 1 施設区分欄の「その他」は、県特別支援学校及び短大
 - 2 「箇所数」は、各校、各園を1とし、「金額」は、千円単位とする。
 - 3 市立以外は () に外書にする。
 - 4 被害程度及びその応急対策状況を別紙により添付すること。

様式第14（風水害－第3編第3章第1節、地震－第3編第3章第1節）

文教施設関係被害状況報告書（個別表）

施設名	被害状況
中部小学校	
南部小学校	
西部小学校	
東部小学校	
北部小学校	
錦町小学校	
高棚小学校	
明和小学校	
志貴小学校	
桜井小学校	
作野小学校	
祥南小学校	
丈山小学校	
二本木小学校	
里町小学校	
桜町小学校	
桜林小学校	
新田小学校	
今池小学校	
三河安城小学校	
梨の里小学校	
計	
南中学校	
北中学校	
明祥中学校	
西中学校	
桜井中学校	
東山中学校	
安祥中学校	
篠目中学校	
計	

- 注意事項 1 被害を受けた各建物、工作物、設備・備品等について、それぞれごとに名称、数量（面積、個数等）、金額を記載すること。
- 2 私立幼稚園、県特別支援学校、高校、短大についても、把握できる範囲でこの表に準じて作成すること。

様式第15 (風水害—第3編第3章第1節、地震—第3編第3章第1節)

市有財産関係被害状況報告書

(各 部⇒市災害対策本部)

報告日時	年 月 日 時	所属部課		報告者	
------	---------	------	--	-----	--

速報・確定 年 月 日現在

施設名	区 分	数 量	被害金額	施設名	区 分	数 量	被害金額
	全壊 (全焼)	棟	千円		全壊 (全焼)	棟	千円
	流 失				流 失		
	半壊 (半焼)				半壊 (半焼)		
	浸 床 上				浸 床 上		
	水 床 下				水 床 下		
	一部破損・焼失				一部破損・焼失		
	小 計				小 計		
	全壊(全焼)			敷 地	流 失	m ²	
	流 失				そ の 他	m ²	
	半壊(半焼)			そ の 他	施 設	箇所	
	浸 床 上				物 品	個	
	水 床 下				そ の 他		
	一部破損・焼失			合 計			
	小 計						
被害程度及びその応急対策状況							

様式第16-1（風水害—第3編第3章第1節、地震—第3編第3章第1節）

（災害概況即報）

消防庁受信者氏名
 災害名 (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所					発生日時	月 日 時 分				
被害の状況	人的被害	死者	人	重傷	人	住家被害	全壊	棟	床上浸水	棟	
		不明	人	軽傷	人		半壊	棟	床下浸水	棟	
							一部破損	棟	未分類	棟	
	119番通報の件数										
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)			(市町村)					
	消防機関等の活動状況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)								
	自衛隊派遣要請の状況										
	その他都道府県又は市町村が講じた応急対策										

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く（原則として、覚知後30分以内）分かる範囲で記載して報告すること。（確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨（「未確認」等）を記入して報告すれば足りること。）

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

災害発生状況等 (速報・確定報告)

月 日 時現在

原 因				発 生 日 時								
発 生 場 所		安城市 町										
発 信 機 関				発 信 者								
受 信 機 関				受 信 者								
区 分		被害		区 分		被害						
人的被害	死 者	1	人	河川	橋 り よ う	31	箇所	その他	水産被害	61	千円	
	行方不明者	2	人		破 堤	32	箇所		商工被害	62	千円	
	負傷者	重 傷 者	3		人	越 水	33		箇所	そ の 他	63	千円
		軽 傷 者	4		人	そ の 他	34		箇所	被 害 総 額	64	千円
住家被害	全 壊	5	棟	その他	港 湾 ・ 漁 港	35	箇所	災害対策本部	65	設置		
		6	世帯		砂 防	36	箇所		設 置 状 況	66	廃止	
		7	人		崖 く ず れ	37	箇所	避難の勧告 指示等の状況	67	地区		
	半 壊	8	棟		地 す べ り	38	箇所		68	世帯		
		9	世帯		土 石 流	39	箇所		69	人		
		10	人		水 道	40	箇所	消防職員出動延人員	70	人		
	一 部 破 損	11	棟		清 掃 施 設	41	箇所	消防団員出動延人員	71	人		
		12	世帯		鉄 道 不 通	42	箇所	避難所数	72	か所		
		13	人		被 害 船 舶	43	隻	避難人数	73	人		
	床 上 浸 水	14	棟		電 話	44	回線	避難人数 (うち自主避難)	74	人		
		15	世帯		電 気	45	戸	避難世帯数	75	世帯		
		16	人		ガ ス	46	戸	避難世帯数 (うち自主避難)	76	世帯		
	床 下 浸 水	17	棟		ブ ロ ッ ク 塀 等	47	箇所	被害程度及び応急対策状況(経過)				
		18	世帯		り 災 世 帯 数	48	世帯					
		19	人		り 災 者 数	49	人					
	非住家	公 共 建 物	20		棟	火災発生	建 物	50	件			
		そ の 他	21		棟		危 険 物	51	件			
	その他	田	流 失 ・ 埋 没		22	ha	そ の 他	52	件			
			冠 水		23	ha	公 立 文 教 施 設	53				
畑		流 失 ・ 埋 没	24	ha	農 林 水 産 業 施 設	54	千円	要 請 事 項				
		冠 水	25	ha	公 共 土 木 施 設	55	千円					
文 教 施 設		26	箇所	そ の 他 の 公 共 施 設	56	千円						
病 院		27	箇所	小 計	57	千円						
道路		損 壊	28	箇所	その他	農 産 被 害	58				千円	
		冠 水	29	箇所		林 産 被 害	59				千円	
		(通行不能)	30	箇所		畜 産 被 害	60				千円	

注意事項 速報の場合は53から64の項目については報告する必要はない。

人的被害

（第 報）

報告の時刻	日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関		受信機関	
発信者名		受信者名	
内容			
発生	日時	日 時 分	
	場所		
	原因		
人的被害の状況	被害程度	1. 死亡 2. 行方不明 3. 重傷 4. 軽傷	
	氏名等	(氏名) (生年月日) (性別 男 ・ 女 ・ 不明)	
	住所		
	収容先		
	その他参考事項	(応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等)	

避難状況・救護所開設状況

（第 報）

報告の時点		日 時 分現在		受信時刻		時 分					
発信機関				受信機関							
発信者名				受信者名							
内容											
避難 状 況	避難先	地区 名	緊急安全確保、 避難指示の種 別及び日時	避難 指示 世帯 数	避難 指示 人数	避難 実 世帯 数	避難 実 人 数	屋内 屋外 の別	今後の見 通し	最大 世帯 数	最大 人数
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)	世帯	人	世帯	人	屋内 屋外		世帯	人
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
			(緊急)(指示) 日 時 分 (自主)					屋内 屋外			
救護所開設 状況	救護所名		設置場所	患者数		実施機関		収容人数の最大値			
				受入	搬送			重傷	軽傷		

※最大世帯数及び最大人数については、避難先毎の最大数を記入すること。

公共施設被害

（第 報）

報告の時刻	日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関		受信機関	
発信者名		受信者名	
内容			
被害区分	ア. 河川 イ. 海岸 ウ. 貯水池・ため池等 エ. 砂防 オ. 港湾・漁港 カ. 道路 キ. 水道施設 ク. その他（ ）		
発生	日時	日 時 分	
	場所		
	原因		
状況	被害区域 区間		
	管理者	（電話 ）	
	被害程度 （概要）		
	応急対策 の状況		
	復旧見込		
	その他 参考事項		

罹災状況調査票兼罹災台帳

						被害の 程度	
世帯主又は 代表者	住所						
	氏名		年齢		職業		
罹災状況							
家 族 の 状 況							
氏名	生年月日	年齢	性別	続柄	職業又は 学校名	死亡・重傷・軽傷・ 行方不明の別	備考
	年 月 日						
	年 月 日						
	年 月 日						
	年 月 日						
	年 月 日						
	年 月 日						
	年 月 日						
	年 月 日						
罹災証明書の受付日 及び交付日	受付日	月 日		交付日	月 日		
災害救助法による応急救助の状況()							
世帯内の者で下欄の救助を受けたものがあるときは、番号を○で囲むこと。							
1 避難所		2 生活資金の貸与		3 学用品の給与			
4 焼き出しその他食料給与		5 被服寝具その他生活必需品の給与又は貸与		6 埋葬			
7 応急仮設住宅		8 医療		9 死体の処理			
10 住宅応急修理		11 助産		12 障害物の除去			
罹災状況	全壊(焼)・流失	棟	調査日	平成 年 月 日			
	大規模半壊	棟	調査担当者				
	半壊	棟	備考				
	一部損壊	棟					
	床上浸水	%					
	床下浸水	%					
自敷地・借地	自家・借家						

安城市長 様

年 月 日

受付番号	り第	-	号
------	----	---	---

罹災証明書交付申請書

罹災証明書の交付について、次のとおり申請します。

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 安城市が被害認定調査を迅速に行うため、固定資産課税台帳等に記載された建物の所在・地番、床面積、構造及び図面等の情報を利用することを承諾します。
<input type="checkbox"/> 罹災証明書に係る情報を市の関係部署に提供すること及び住家の被害認定調査に協力することを承諾します。 |
|--|

申請者住所	〒 -		TEL
申請者氏名	フリガナ	罹災者との関係 <input type="checkbox"/> 本人及び世帯員 <input type="checkbox"/> その他 ※その他の場合は委任状が必要	
この証明書の必要数及び使用目的	通	(使用目的)	
書類の送付先 <small>※申請者住所と異なる場合のみ記入</small>	〒 -		
罹災世帯主住所	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		
罹災世帯主氏名	<input type="checkbox"/> 申請者の氏名と同じ(記載不要) フリガナ		
罹災世帯構成員	氏名	続柄	生年月日
		世帯主	
罹災原因	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> その他()		
罹災年月日	年 月 日		
特記事項 <small>(住家以外の被害状況)</small>			
罹災住家※の所在地	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

※住家被害がある場合に限り、罹災証明書申請可能

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 「自己判定方式」によることを希望します。
また、被害の判定について、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定と決定されることに同意します。 |
|--|

以下は記入しないでください。

添付書類	<input type="checkbox"/> 罹災状況が確認できる写真等(罹災物件写真) <input type="checkbox"/> 罹災場所の位置図 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類
本人確認書類	<input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> その他()

安城市長 様

年 月 日

受付番号	ひ第	—	号
------	----	---	---

被災届出書兼被災届出証明書

下記物件等について、下記のとおり被災したことを届出します。
 なお、被災届出証明書に係る情報を市の関係部署に提供することを承諾します。

申請者住所			TEL
申請者氏名	フリガナ	被災者との関係 <input type="checkbox"/> 本人及び世帯員 <input type="checkbox"/> その他 ※その他の場合は委任状が必要	
この証明書の 必要数及び使用目的	通	(使用目的)	
被災者住所	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		
被災者氏名	<input type="checkbox"/> 申請者の氏名と同じ(記載不要)		
	フリガナ		
被災原因	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> その他()		
被災年月日	年 月 日		
特記事項			
被災した物件等 の所在地等	<input type="checkbox"/> 申請者の住所と同じ(記載不要)		

上記、被災内容について被災の届出があったことを証明します。

令和 年 月 日

安城市長

印

(注) この証明書は、罹災証明書に代わり非住家等に交付されるものです。
 被災の状況を客観的事実(添付書類等)に基づき、届出があったことを証明するものであり、民事上の
 権利義務関係に効力を有するものではありません。

以下は記入しないでください。

添付書類	<input type="checkbox"/> 被災状況が確認できる写真等(被災物件写真) <input type="checkbox"/> 被災場所の位置図 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める書類
本人確認書類	<input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> その他()

安災証第 号

罹 災 証 明 書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏名	続柄	生年月日
罹災原因	年 月 日の による		
被災住家 [※] の所在地			
住家 [※] の被害の程度			
浸水区分			

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)

備考	
----	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

安城市長

(印)

部隊等の派遣要請依頼書

文 書 番 号

年 月 日

愛知県知事

様

安城市長

部 隊 等 の 派 遣 要 請 依 頼 書

災害を防除するため、下記のとおり、自衛隊の災害派遣要請を依頼します。

記

1 災害の情况及び派遣要請を依頼する理由

災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）

派遣を要請する理由

2 派遣を希望する期間

3 派遣を希望する区域及び活動内容

(2) 区域

(2) 活動内容（遭難者の捜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）

4 その他参考となるべき事項

その他の細部については、 において調整する。

2項に関しては、具体的に表現することが不可能な場合には、「救援活動終了するまでの間」等の定性的な表現

災害派遣部隊撤収要請依頼書

文 書 番 号

年 月 日

災害派遣要請者

様

安城市長

災害派遣部隊撤収要請依頼書

災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、 月 日をもって派遣部隊等を撤収要請されるよう依頼します。

避難所収容台帳

安城市	避難所
責任者氏名	

月 日	収容人員	記 事	物 品 使 用 状 況		備 考
			品 名	数 量	
計					

- 注意事項
- 「収容人員」欄は、当日の最高収容人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
 - 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別及び使用数量を記入すること。
 - 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を備考に記入すること。

避難所用物品受払簿

品名				単位呼称				安城市	
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	購入単価	購入金額
合計	数量	受 入			払 出			残 高	
	金額	円			円			円	

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

被災者救出用機械器具燃料受払簿

品名				単位呼称		安城市			
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	購入単価	購入金額
合計	数量	受入			払出			残高	
	金額	円			円			円	

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第30（風水害－第3編第5章第1節、地震－第3編第5章第1節）

被災者救出用機械器具修繕簿

安 城 市

機 械 器 具 の 名 称	所 有 者（管 理 者）氏 名	故 障 年 月 日	故 障 の 原 因	故 障 箇 所	修 繕 年 月 日	修 繕 費

様式第32 (風水害—第3編第6章第1節、地震—第3編第7章第1節)

病院診療所医療実施状況

安城市

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病 名	診療区分		診療報酬点数		金 額 円	備 考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点		
計	機関	人							

(注) 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

助産台帳

安城市

分 べ ん 者			分べんの日時 及び場所	助産機関名	期 間	金 額	備 考
住 所	氏 名	年 齢					
						円	

様式第34 (風水害—第3編第12章第2節、地震—第3編第13章第2節)

遺体処理台帳

安城市

処理年月日	遺体発見の日時及び場所	死亡者氏名	遺族		死亡者との関係	洗浄等の処理			遺体の一時保存料	検案料	実支出額	備考
			氏名	氏名		品名	数量	金額				
									円	円	円	
計		人										

埋火葬台帳

安 城 市

死 亡 年月日	死 亡 原 因	埋火葬 年月日	死 亡 者	埋火葬を行った者	埋 火 葬 費				
			住所及び氏名 (年齢)	住所及び氏名 〔死亡者との 関 係〕	棺（付 属品を 含む）	埋葬又 は火葬 料	骨箱	計	備考
					円	円	円	円	

注意事項

- 1 埋火葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入しておくこと。
- 2 市長が棺、骨箱等を現物で支給したときは、その旨を「備考」欄に明らかにしておくこと。
- 3 埋火葬を行った者に埋火葬費等を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入しておくこと。

様式第38 (風水害-第3編第10章第1節、地震-第3編第11章第1節)

給水用機械器具燃料及び浄水用薬品資材受払簿

品名				単位呼称				安城市	
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	購入単価	購入金額
合計	数量	受 入 払 出			残 高				
	金額	円			円			円	

注意 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

食料品現品給与簿

安城市

給与年月日	給与 人数	食数	給与物品内訳					受領者					備考	
			米	乾 パン	缶 詰			住 所	世帯主 氏名	家族 数	受領 印	避難先 市町名		
	人	食												
計														

様式第43（風水害－第3編第10章第2節、地震－第3編第11章第2節）

炊き出しその他による食品給与のための物品受払簿

炊出場 (避難所)	
責任者氏名	

品名		単位呼称		数量			価格		
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	単価	金額
合計	数量	受入		払出			残高		
	金額	円		円			円		

- 注意 1 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。
 2 「払」及び「残」に対応する価格は、そのものの受入れ時の価格によって記入すること。

応急用米穀の売却

第 号
年 月 日

愛知県知事 様

安城市長 印

応急用米穀の売却について（依頼）

年 月 日午前 時 分東海地震（震源地駿河湾沖、震度5～6）が発生し、本市 地区、 地区及び 地区において家屋の倒壊 戸、半壊 戸の被害を受けました。

については、これらを始めとする被災者等に炊き出し給食を実施したいので、下記によりこの手配についてご配慮ください。

記

1 売却希望数量 kg

積算基礎等 (1) 対象戸数 戸

(2) 対象人員 人

〔 被災者 人
救じゅつ者 人

(3) 給食数 延 食

〔 被災者 食
救じゅつ者 食

(4) 給食対象期間

年 月 日から

年 月 日まで

2 輸送方法等

輸送可能車輛 台（ トントラック 台）

3 その他

緊急輸送道路（県道 線）は橋梁（ 橋）が損壊しているため不通である。

第 号
年 月 日

安城市長 様

愛知県知事

応急用米穀の売却について（回答）

年 月 日付け で依頼のありましたこのことについて、東海農政局長との協議の結果、下記のとおり売却が決定されました。

記

- 1 売却量
- 2 売却される米穀の概要
- 3 売却金額
- 4 支払の方法
- 5 売却地等
- 6 出庫証又は荷渡指図書番号

物資購入 (配分) 計画表

安 城 市

世帯区分	品名				計
	単価				
一人世帯 (基準額) 円	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
二人世帯 (基準額) 円	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
三人世帯 (基準額) 円	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
四人世帯 (基準額) 円	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
人世帯 (基準額) 円	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
人世帯 (基準額) 円	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
計	数 量				
	世 帯 数				
	所 要 数				
	金 額				
備 考					

注意事項 1 本表は全壊 (全壊、流出) 半壊 (半鐘)、床上浸水世帯分に分けて作成すること。
 2 「品名」欄は、寝具、被服、生活必需品の順に記入すること。
 3 各品目ごとの「備考」欄に都道府県調達分と市町村調達分を明らかにしておくこと。

世帯構成員別被害状況

安城市

被害別	世帯構成員別	年 月 日 時現在														
		1人 世帯	2人 世帯	3人 世帯	4人 世帯	5人 世帯	6人 世帯	7人 世帯	8人 世帯	9人 世帯	10人 以上 世帯	計	小学生	中学生		
全焼、全壊、流出																
半壊、半焼																
床上浸水																

物資の給与状況

安城市

住家被害 程度区分	世帯主 氏名	基礎と なった 世帯構 成人員	給与月日	物資給与の品名						実支 出額	備 考
				布団	毛布						
		人	月 日							円	
計	全壊	世帯									
	半壊	世帯									

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ありません。
年 月 日

給与責任者氏名

印

- (注) 1 「住家の被害程度区分」欄に、全壊(焼)流失、半壊(焼)又は床上浸水の別を記入すること。
2 「給与月日」の欄に、その世帯に対して最後に給与された物資の給与月日を記入すること。
3 「物資給与の品目」欄に、数量を記入すること。

物資受払簿

品名				単位呼称				安城市	
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	購入単価	購入金額
合計	数量	受入		払出		残高			
	金額	円		円		円			

注意事項 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

物資給与及び受領簿

安城市

住家被害 程度区分		給与の基礎 となった世 帯構成員数	災害発生時世帯構成員 人 { うち 死亡者 人 }
--------------	--	-------------------------	---------------------------------

被災救助用物資として下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

住 所

世帯主氏名

印

給与年月日	品 名	数量	備 考	給与年月日	品 名	数量	備 考

注意事項 災者の受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日
とすること。

学用品購入(配分)計画表

安城市

品名	単価	小 学 校		中 学 校		合 計		備 考								
		全 壊 分		半 壊 分		全 壊 分			半 壊 分							
		児 童 数	数 量	金 額	児 童 数	数 量	金 額		生 徒 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	数 量	金 額
計																

- 注意事項
- 1 本表は、学用品のうち、文房具及び通学用品のみとし、教科書(教材を含む。)については、別途適宜作成するものであること。
 - 2 県調達分があるときは、その旨を各品目ごとの「備考」欄に明らかにしておくこと。

学用品受払簿

品名				単位呼称				安城市	
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	購入単価	購入金額
合計	数量	受 入		払 出		残 高			
	金額	円		円		円			

注意事項 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

学用品の給与状況

安城市

学 年	児 童 (生徒) 氏 名	親 権 者 氏 名	給 与 月 日	給 与 品 の 内 訳																支 出 額	備 考
				教 科 書								そ の 他 学 用 品									
																			円		
計		人																		円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

学校長氏名

- 注意事項 1 「給与月日」欄は、その児童（生徒）について最後に給与した給与月日を記入すること。
 2 「給与品の内訳」欄は、数量を記入すること。

輸送記録簿

安 城 市

年 月 日	時 間	目 的	輸 送 区 間		使用車両船舶等		輸 送 担当者	金 額	備 考
			区 間	距 離	種 類	台 数			
								円	

- 注意事項
- 1 必要に応じ、市の車両等による場合とその他の場合に区分し、別項としてさしつかえないこと。
 - 2 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 - 3 市の車両等による場合は、「輸送担当者」欄に車両番号等を記入すること。
 - 4 借上車両等による場合は、有無償の別を問わず記入すること。
 - 5 「金額」欄は、運送費又は車両等の借上費を記入すること。

燃料及び消耗品受払簿

品名				単位呼称		安城市			
年	月	日	購入先 受入先	払出先	受	払	残	購入単価	購入金額
合計	数量	受 入		払 出		残 高			
	金額	円		円		円			

- 注意事項 1 合計欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。
 2 必要に応じ市有の車両等に対する分とその他の車両等に対する分と別冊又は別頁として差し支えないこと。

修繕費支払簿

安 城 市

輸送 年月日	目的	故障 年月日	故障 場所	故障車両等		故障の 原因	故障 箇所	修繕 年月日	修繕費
				名称 番号	所有者 氏名				
									円

注意事項 必要に応じ、県又は市有の車両による分とその他の車両等による分とを別頁として差し支えない。

緊急通行車両確認申出書

年 月 日		
愛知県知事・愛知県公安委員会 殿		
緊急通行車両確認申出書		
申出者 住所		
氏名		
番号標に表示されている番号		
車両の用途(緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名)		
活動地域		
車両の 使用者	住所	() 局 番
	氏名又は名称	
緊急 連絡先	住所	() 局 番
	氏名	
備考		

注 用紙は、日本産業規格A4とする。

緊急通行車両等届出書

年 月 日	
緊急通行車両等届出書	
愛知県公安委員会 殿	
届出者住所 (電話) 氏名	
番号標に表示されている番号	
車両の用途(緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名)	
使用者	住所 (電話) () 局 番
	氏名
通行日時	年 月 日 午前・午後 時から 年 月 日 午前・午後 時まで
通行経路	出 発 地 通 行 目 的
備 考	

注 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

様式第58（地震－第5編第4章第4節）

緊急通行車両確認証明書

第 号		年 月 日
緊急通行車両確認証明書		
知 事 印 公安委員会 印		
番号標に表示されている番号		
車両の用途 （緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名）		
活動地域		
車両の 使用者	住所	() 局 番
	氏名又は名称	
有効期限		
備考		

備考 用紙は、日本産業規格A4とする。

応急仮設住宅使用申込書

年 月 日

愛知県知事

代理人 安城市長

申請者 被災時住所

氏名

印

電話番号

災害により被災しましたので、次のとおり申込みます。

希望 応急 仮設 住宅	第1希望地	安城市		住宅
	第2希望地	安城市		住宅
使用 期間	年 月 日から 年 月 日まで (原則として6か月間)			
	氏 名	続柄	年齢	備考(障害者は級数)
		本人		
入居予定者の中に次に該当する方は、○印を付けてください。				
	順位	○印	優先入居該当者	
1			65歳以上の方のみの世帯	
			65歳以上の方もしくは18歳未満の方のみの世帯	
			障害者の方のいる世帯	
			3歳未満の乳幼児を扶養する母子(父子)世帯	
			特定疾患により早急に居住の安定を図る必要がある世帯	
2			65歳以上の方のいる世帯	
			3歳から18歳までの方を扶養する母子(父子)世帯	
			3歳未満の乳幼児のいる世帯	
			生活保護受給者世帯	
			妊婦のいる世帯	

添付書類 災証明書

受付印	区分	抽選番号	当選落選結果
	一般 優先 (第1順位 第2順位)		

応急仮設住宅使用（許可・却下）通知書

年 月 日	
住 所	
氏 名	様
	安城市長 印
<p>年 月 日付けで申込みのありました応急仮設住宅使用については、 条件を付して許可 次の 理由により却下 しましたので通知します。</p>	
使 用 の 条 件	<p>1 応急仮設住宅入居の期間は、原則として入居の日から起算して6か月とする。 したがって、その間に他に住居を移すよう努力すること。（ただし、入居の期間は、 復興の状況及び入居者の事情等により更新できるものとする。）</p> <p>2 この住宅は、他の者に貸さないこと。</p> <p>3 この住宅を返還するときは、入居のときと同じ状態にしておくこと。</p>
使 用 の 契 約	<p>直ちに応急仮設住宅入居契約を締結してください。 （この通知書及び印鑑をお持ちのうえ、市役所においでください。）</p>
却 下 の 理 由	

応急仮設住宅使用貸借契約書

愛知県甲とし 乙とし、甲乙当事者は応急仮設住宅の使用について、次のように応急仮設住宅使用貸借契約を締結する。

（使用物件）

第1条 甲は、災害救助法（昭和22年法律第118号）に基づいて設置した応急仮設住宅（以下「住宅」という。）を乙に無償で使用させるものとし、乙はこれを承諾する。

住 宅 名	所 在 地

（使用期間）

第2条 住宅の使用期間は、入居の日の 年 月 日から 年 月 日までとする。

（使用料）

第3条 住宅使用料は無償とする。

（費用負担）

第4条 別表に掲げる費用は、乙が負担しなければならない。なお、退去時の修繕にかかる費用については、乙に故意又は過失がある場合に乙が負担しなければならない。ただし、甲が認めたときはこの限りでない。

（入居者の保管義務）

第5条 乙は、住宅を善良な管理者の注意をもって管理し、正常な状態において維持しなければならない。

2 乙は、住宅を転貸し、又は入居の権利を他の者に譲渡することはできない。

3 乙は、住宅の原状を変更し、又は住宅以外の目的に使用してはならない。

（損害賠償）

第6条 乙が故意又は過失によって住宅又は建具を滅失し又は損傷したときは、乙は、甲に損害額に相当する金額を損害賠償として支払わなければならない。ただし、乙の負担において原状回復した場合は、この限りでない。

（住宅の明渡し）

第7条 乙は、住宅の使用を止めようとするときは、その1か月前までに甲にその旨を届け出なければならない。

（返還命令）

第8条 甲は、乙が次のいずれかに該当するときには、乙に住宅の返還を命ずることができる。

（1）第5条の規定に違反したとき。

（2）虚偽の申請があったとき。

(3) 正当な理由によらないで15日以上住宅を使用しないとき。

(4) 住宅の保管に関する甲の指示若しくは命令に従わないとき。

(返還命令の損害)

第9条 前条の返還命令により乙が損害を被ることがあっても、甲は損害を補償しない。

(有益費等の請求権の放棄)

第10条 乙は、貸借物件に投じた改良のための有益費、必要費その他の費用を請求できない。

(実地調査及び報告)

第11条 甲は、必要があるときは、その職員をして随時実地調査をし、その維持管理及び使用に関し必要な指示をし、又は報告を求めることができる。この場合、乙は、当該職員の立入調査を拒むことができない。

(疑義の決定)

第12条 この条件に関し、疑義のあるとき、その他使用について疑義を生じたときは、すべて甲の決定するところによるものとする。

この契約の締結を証するため、本契約書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、甲乙各1通を保有する。

令和 年 月 日

甲 愛知県
上記代理人 安城市
住 所
氏 名

乙 被災時住所
氏 名

別 表

区 分	費 用
修繕等に要する費用	1 障子及びふすまの張替えに要する費用 2 ガラスのはめ替えに要する費用 3 畳の表替えに要する費用 4 建具の修繕及び建具に付属するかぎ等金物類の修繕及び取替えに要する費用 5 むれ縁、床板等の部分的な修繕に要する費用 6 壁の汚損箇所の塗替えに要する費用 7 煙突及び便所の臭気抜きの修繕及び取替えに要する費用 8 便所のくみ取り口の修繕及びふたの取替えに要する費用 9 流し台、調理台、コンロ台、戸棚、郵便箱等の部分的な修繕及び付属金物類の取替えに要する費用 10 電球、反射傘、グローブ、スイッチ、コンセント、ソケット、ローゼット、コードペンダント、テレビ共聴システム室内ユニット、ヒューズ等の修繕及び取替え並びに換気扇及び換気孔の修繕に要する費用 11 ガス栓の修繕及び取替えに要する費用 12 給水栓の修繕及び取替えに要する費用 13 便器、手洗器及び洗面器に付属する金物類等の補修及び取替えに要する費用 14 愛知県が設置した風呂釜及び浴槽の修繕に要する費用 15 生け垣、さく、塀等の修繕及び物干しの取替えに要する費用 16 その他前各号に類する修繕等に要する費用
電気等の使用料	1 電気の使用料 2 ガスの使用料 3 上下水道の使用料 4 その他前3号に類するものの使用料
汚物等の処理に要する費用	1 配水管、汚水管、ためます、沈砂槽及び排水溝の消毒及び清掃に要する費用 2 し尿、じんかい及び排水の消毒、清掃及び処理に要する費用 3 その他前2号に類するものの処理に要する費用
共用附帯設備の使用に要する費用	1 共用附帯設備の使用に関する費用
共用施設の使用に要する費用	1 集会所の清掃に要する費用 2 その他共同施設の使用に要する費用
その他前各号に類する費用	別に愛知県が定める費用

応急仮設住宅退去届

住宅名	
住宅番号	
退居日	令和 年 月 日
退居理由	1 賃貸住宅へ移転（ア 県営 イ 市町村営 ウ その他の公的住宅 エ 民間） 2 その他住宅へ移転（ア 持家 イ 親族と同居 ウ その他） 3 その他（理由 ）
移転先	郵便番号 住 所 電話番号

私は、上記のとおり応急仮設住宅を退去します。

愛知県知事
代理人 安城市長

令和 年 月 日

入居者住所

氏名

印

様式第622-2 (風水害-第3編第22章第4節、地震-第3編第15章第4節)
応急仮設住宅入居者名簿(入居者台帳)

住宅名	棟・室番号		入居時人数	使用貸借期間		退去年月日	
	棟	号		令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
氏名							
本人 (契約者)	・	・	挿入				
	・	・					
	・	・					
	・	・					
	・	・					
	・	・					
	・	・					
ふりがな	契約者 からみた 関係	性別	年齢	現住所	自宅電話番号	勤務先名	勤務先電話番号
氏名							

緊急連絡先

障害物除去の状況記録簿

住家被害程度区分	住所	氏名	職業	家族数	除去を要すべき状態の概要	除去に要した時間	金額	備考

応援受入簿

期 間	要 請 先	人 員	援 護 内 容	備 考
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				
年 月 日から 年 月 日まで				

公用令書

		従事第 号
		年 月 日
住 所		
氏 名	様	
	処分権者	印
災害対策基本法第 7 1 条の規定に基づき、次のとおり		従事 協力を命ずる。
従事すべき業務		
従事すべき場所		
従事すべき期間		
出頭すべき日時		
出頭すべき場所		
備 考		

公用変更令書

		変更第	号
		年	月 日
住所			
氏名	様		
	処分権者		印
	第71条		
	災害対策基本法	の規定に基づく公用令書（	年 月 日
	第78条第1項		
	第 号）に係る処分を次のとおり変更したので、同法施行令第34条第1項の規定により交付する。		
変更した 処分の内容			

公用取消令書

		取消第	号
		年	月 日
住 所			
氏 名	様		
	処分権者		印
	第 7 1 条		
災害対策基本法	の規定に基づく公用令書（	年	月 日
	第78条第1項		
第 号）に係る処分を取り消したので、同法施行令第34条第1項の規定により			
交付する。			

ボランティア団体等協力申出書

安 城 市 長

下の注意事項を読んでから記載してください。

申出日

年 月 日

団体名及び 所 在	連絡先電話番号
代 表 者	住所
	氏名 電話番号
活 動 人 員	男性 名 (主な年齢層 歳) 女性 名 (主な年齢層 歳)
活 動 期 間	年 月 日 から 年 月 日まで
希望活動業務 (得意分野)	
活 動 意 見	

注意事項

- 1 太枠の中のみ記入してください。
- 2 「団体名及び所在」欄は、団体での申出の場合のみ記入してください。
- 3 個人での申出の場合は、「代表者」欄に住所・氏名を記入してください。

処 理	申出方法（該当を○で囲む）	受付者	所属	
	来庁・郵送・電話・ファックス		氏名	

緊急物資要請書

市町村名	(無線) 電話	物資受領日時時間 / :
	(無線) FAX	受領者印 (サイン)

1 送信・受信履歴

番号	市町村の送信・受信			送受別 ←・→	県の送信・受信		
	月日	時間	担当者		月日	時間	担当者
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	
	/	:			/	:	

2 要請する緊急物資(様式3-2への記載 有・無)

市 町 村 記 入 欄		県 記 入 欄
要 請 品 目	要 請 数 量 (単 位)	回 答 数 量 (単 位)
1 主食・飲み物 月 日 朝 ・ 昼 ・ 夜	人分	
2		
3		
4		
5		

3 市町村要請時の特記事項(市町村記入)

県拠点等へ物資を取りに来られるか? (いずれかに○をつける)	可 ・ 否 ・ その他 ()
(その他特記事項)	

4 県回答時の指示特記事項(県記入)

物資の引渡し方法 (どちらかに○をつけ)	市町村が取りに来る / 県が市町村へ配送
引渡し/配送時間等連絡欄 (その他特記事項)	

5 配送情報

項 目	市町村が取りに来る場合 (県記入)	市町村へ県が配送する場合 (市町村記入)
場所 (どこへ)		
現地の担当者		
現地の連絡先		
(その他特記事項)		

発 生 情 報

報告日時	年 月 日 時 分
市町村名	安 城 市
所 属	
報 告 者	
電 話 等	

1 災害の発生日時、場所、原因及び被害の概況

2 被害状況調（ 月 日 時 分現在）

人的被害	人	住家被害	棟	世帯	人員
死 者		全壊、全焼又は流失			
行方不明		半壊、又は半焼			
負 傷	重 傷	一 部 損 壊			
	軽 傷	床 上 浸 水			
	小 計	床 下 浸 水			

3 すでにとった措置

4 今後とろうとする措置

5 その他必要事項

※ 「2 被害状況調」は、愛知県防災情報システムに入力済みである場合には、表に代えて「県防災情報システムに入力済み」と記載し、数値の記載を省略することができる。

愛知県知事 殿

安城市長

印

災害救助法の適用について（依頼）

令和〇〇年〇月〇〇日に発生した<災害名>により、下記のとおり多大な被害が発生しましたので、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を要請します。

記

1 被害の状況

(令和 年 月 日 時 分現在)

人的被害		人	住家被害	世帯
死者			全壊、全焼又は流失（A）	
行方不明			半壊、又は半焼（B）	
負傷	重傷		一部損壊	
	軽傷		床上浸水（C）	
	小計		床下浸水	

滅失世帯数 世帯 ※ 滅失世帯数 = (A) + (B) / 2 + (C) / 3

2 災害救助法施行令第1条第1項の該当条項
第〇号

3 すでにとった措置

4 今後とろうとする措置

中間・決定 情報

報告日時	令和 年 月 日 時 分
市町村名	安 城 市
所 属	
報 告 者	
電 話 等	

1 災害の発生日時、場所、原因及び被害の概況

2 被害状況調（ 月 日 時 分現在）

人的被害	人	住家被害	棟	世帯	人員
死 者		全壊、全焼又は流失			
行方不明		半壊、又は半焼			
負 傷	重傷	一部損壊			
	軽傷	床上浸水			
	小計	床下浸水			

3 救助の種類別実施状況（ 月 日 時 分現在）

救助の種類	実施状況		救助の種類	実施状況	
避難所の設置	延	人	救出	延	人
応急仮設住宅の供与		戸	住宅の応急修理	延	世帯
食品の給与	延	人	学用品の給与	延	人
飲料水の供給	延	人	埋葬	延	人
生活必需品の給与	延	世帯	死体の搜索	延	人
医療	延	人	死体の処理	延	人
助産	延	人	障害物の除去	延	世帯

4 救助費概算（見込）額調

別紙 「災害救助費概算額調」 のとおり

5 救助費の予算措置の概況

※ 「2 被害状況調」は、愛知県防災情報システムに入力済みである場合には、表に代えて「県防災情報システムに入力済み」と記載し、数値の記載を省略することができる。

安城市地域防災計画 資料編

昭和55年3月 作成
昭和57年7月 一部修正
昭和58年5月 一部修正
昭和59年9月 一部修正
昭和60年9月 一部修正
昭和61年9月 一部修正
昭和62年9月 一部修正
昭和63年9月 一部修正
平成元年9月 一部修正
平成2年9月 一部修正
平成3年9月 一部修正
平成4年9月 一部修正
平成5年9月 一部修正
平成6年9月 一部修正
平成7年9月 一部修正
平成8年9月 全面改訂
平成9年9月 一部修正
平成10年9月 一部修正
平成11年9月 一部修正
平成12年9月 一部修正
平成13年10月 一部修正
平成15年3月 一部修正
平成16年3月 一部修正
平成16年9月 一部修正
平成17年9月 一部修正
平成18年9月 一部修正
平成20年3月 一部修正
平成21年2月 一部修正
平成22年3月 一部修正
平成22年10月 一部修正
平成24年2月 一部修正
平成24年11月 一部修正
平成26年2月 一部修正
平成27年3月 一部修正
平成28年2月 一部修正
平成29年2月 一部修正
平成30年1月 全面改訂
平成31年3月 一部修正
令和2年3月 一部修正
令和3年3月 一部修正
令和4年3月 一部修正
令和5年3月 一部修正
令和6年3月 一部修正
令和7年3月 一部修正
令和8年3月 一部修正

編集発行

安城市防災会議

(安城市市民生活部危機管理課)

住所 安城市桜町18番23号

電話 0566-71-2220

